京城日報
二十二日夕刊 (朝夕刊併せて八頁)
京城太平町通一丁目 發行所 京城日報社 電話(編輯用)三四五番 (營業用)二六番
本紙定價 廣告料金

總督告辭

二十二日擧行したる京城公立高等女學校卒業式並に私立進明女子高等普通學校卒業式に於て釜屋武官の代讀せる長谷川總督の告辭左の如し

京城公立高等女學校卒業生諸子

諸子は多年本校に在りて女子に必須する學業を修め並に高等普通教育の課程を卒り各自の志す處に向はんとす洵に賀すべきなり惟ふに女子の本分は一家を齊整して内助の任を完ふするに在り諸子須らく本校教育の旨趣を體し益々貞淑温良の德を涵養すると共に沈著鞏固なる意思を鍛錬し見聞を擴め體育に注意し以て一般婦女子の模範たらんことを期すべし

並に私立進明女子高等普通學校卒業式に方り一言以て諸子に告ぐる處あらんとす

諸子は多年本校に在りて女子に必須なる高等普通教育を受け今や所定の課程を卒り各其志す處に向はむとす寔に祝すべきなり惟ふに女子の本分は一家を齊整し子女を教育し以て内助の實を擧ぐるに在り、諸子能く本校教育の旨趣を體し益々言行を愼み德操を研き以て一般婦女子の模範となり本校教養の効果を完ふすると共に進みて皇恩に奉答せんことを期すべし

▲擁護會組織協議

駐支露國公使は本國擁護會組織に關しホルワット將軍と具體的協議をなす爲め十八日哈爾賓へ代表者を派遣せり(北京特電)

▲白耳義軍隊守備

英軍司令部附通信員の報に曰く白耳義軍隊は從來英軍の守備せる海岸地域を守り居れり(モニン電報)

▲軍司令部設置違背抗議

奉天軍が天津より三十支里以内の地點に軍司令部を設置せるは義和團議定書に違背するものとして天津各國領事代表者より之が質問を首席公使ジョルダン公使の許に提出せるを以て同公使は是を外交部へ正式に傳達せり(北京特電)

第四十回帝國議會(東京特電)

衆議院(二十日)

▲本會議

(電報延著＝二十一日朝刊より續く)

此時寺内首相以下出席、元田委員長の報告通り議會の順序を變更修正可決次で建議案の説明に入り

▲北鮮裏日本聯絡航路延長に關する建議案 櫻井兵五郎氏(憲政)提案理由を説明し本案は政府が明年度豫算に於て元山敦賀の聯絡に要する經費を要求せるに對し更に其航路を七尾伏木に延長されん事を圖ふものなりと述べ委員附託

▲煙草元賣捌事務を市町村に委任する建議案

▲綾部惣兵衛氏(憲政)提案理由を説明し秦氏案と同一委員附託

▲支那人教育の施設に關する建議案 高木本吉氏(政友)提案理由を述べ委員附託

岩崎勳氏(政友)より日程變更に關する緊急動議を提出し異議なく之れに決し

衆議院議員選擧法中改正法律案(憲政會提出、國民黨提出)委員長江藤哲藏氏(政友)より委員會の經過に就き簡單なる報告あり、後大岡議長より討議に入る前昨日の齋藤君の質問を再び繰返し度しとの希望あり異議なきやと諮り同意を得て齋藤氏の質問を許す依つて齋藤隆夫氏(憲政)は昨日の政府の答辯は要領を得ざれば更に改めて他の事を聞く可し政府及び政友會の選擧法改正案の撤回されたるは工業動員法案を通過せしむる爲めなりと聞けり果して事實なりや否やに對し▲齋藤珪次氏(政友)は議長は斯かる質問を許すやと大呼し、大岡議長亦齋藤(隆夫)君の質問は其趣旨に反するを以て是れを許さずと發言を止め直に討議に入り植原悦二郎氏(國民)の原案賛成に對し東武氏(政友)の反對意見あり次で▲齋藤隆夫氏(憲政)の憲政會案維持説に對し島田俊雄氏(政友)の反對あり後ち後藤内相より政府の意見を述べ質問打切り採決に入りたるが憲政會案、國民黨案共に少數にて否決、日程變更

責任支出案外一件承諾を求むる件を附議し委員長山本悌二郎氏(政友)委員會の經過を報告し各案共異議無く可決承諾を與ふるに決す

東京市特別市制に關する建議案 委員長鳩山一郎氏(政友)委員會の經過を報告可決

纖維原料製作及び織物廣幅獎勵に關する建議案 委員長田邊熊一氏(政友)報告通り可決

同讃鐵道建設に關する建議案外二件 委員長秦豐助氏(政友)報告通り修正可決

久留米大分間鐵道建設に關する建議案 委員長松田源治氏(政友)報告通り可決

神祇に關する特別官衙設置建議案外一件 委員長小久保喜七氏(政友)報告通り可決是れに對し川崎安之助氏(憲政)の質問あり小久保氏是れに答へ大岡議長は神祇に關するを以て特に敬意を拂ふ可しと告げ總員起立にて委員長報告通り可決

福井縣三國港築港に關する建議 委員長熊谷五右衛門氏(政友)委員會の經過報告可決、次で請願特別報告に移り永田理事の報告あり此時議席頗る寂寥僅に六十八名を算するのみ斯くて請願二十件の報告を終り午後六時散會せり

(二十一日朝刊一面の記事中本會議の誤植に付訂正)

▲列車延著

内田大使一行の搭乘せる列車は東清鐵道陶賚昭、三岔河間に於て貨物列車脱線の爲め復舊を待つべく約三四時間延著の見込なりと東清鐵道より滿鐵社へ入電ありたり(長野特派員安東特電)

◎支那公使北行

内田大使一行と共に露都を引揚げたる劉支那公使一行十八名は二十二日午前四時二十分著奉同十時三十分發の京奉線列車にて北京に向へり(奉天特電)

◎眞野總長通過

九州帝國大學總長眞野博士は旅順へ出張の途廿二日朝釜山通過せり(釜山特電)

◎古海總長動靜

西鮮地方巡閲中の古海鐵務總長は廿一日午前九時三十分安東著五龍背にて休憩の後同夜六時三十分發列車にて南行の筈なり(安東特電)

◎小杉技師通過

平壤無煙炭坑技師小杉博士廿二日朝釜山通過歸任せり(釜山特電)

◎經學院職員招待

既報の如く長谷川總督は二十二日午後三時官邸に經學院副提學李容植子(金提學は病氣の爲め缺席)以下同院職員及び各道講士十四名を招待し茶菓を饗應せり總督府側より宇佐美長官關屋局長弓削小田兩課長上田視學官豐永博士荻田局長釜屋高橋兩武官齋藤大島兩官神田秘書官新庄澁波陶山三通譯官列席せり

◎定例長官會議

總督府に於ては二十二日午前九時半より定例長官會議を開き各部長官の外荻田局長久水外事課長等列席總督臨場の上通常政務を議し正午散會

◎京畿所得稅額

京畿道管内に於ける大正六年度前期分即ち六年四月より同年九月に至る所得稅額を聞くに甲種に於て五千圓以下の所得あるもの納稅人員七人此の所得金額五千十六圓此の稅額二百圓六十三錢、五千圓を超ゆる所得あるもの人員一人、所得金額三千二百九十三圓此の稅額百三十九圓六十五錢なり一萬圓を超ゆる所得あるものに在りては人員一人にして所得金額一萬三千百十八圓此の稅額六百三十七圓八錢一萬五千圓を超ゆる所得あるものに於て人員一人にして金額一萬八千五百六十五圓此の稅額九百九十九圓五十五錢、二萬圓を超ゆる所得あるもの以上の納稅義務者なし即ち合計納稅人員十人所得金額三萬九千九百九十二圓、稅額一千九百七十一錢を示せり而して乙種に在りては納稅人員三千、所得金額百十九萬四千七百七十三圓此の稅額七萬四千六百七十三圓十九錢なるを以つて所得稅總計納稅人員に於て四千十、所得金額に於て百二十三萬四千七百六十五圓、稅額に於て七萬六千六百五十圓十錢を算せりと

◎鮮人内地出稼

近來鮮人の内地出稼ぎ多きを加へ殊に炭鑛の如きは昨今朝鮮釜山以南の定期航海には是等出稼人を滿載し居れるが之が原因とも見るべきは内地の好景氣なると一方出稼者の最も多き濟州島は農作物不作にして生活難を唱へ居れる關係上等に依れるものゝ如く出稼地としては福岡北海道其の大半を占め居れり

◎院線團體割引停止

鐵道院にては來る二十五日より當分の内普通團體に對する院線内割引を停止する旨滿鐵京城管理局に通知ありたり

◎露貨換算率變更

東清鐵道にては二十日以降日滿聯絡貨物運輸に適用すべき日露貨幣換算率を日貨百圓に付露貨四百留とする旨滿鐵京城管理局へ入電あり

◎海事駐在所新設

遞信局にては今回日本海横斷航路の開始と共に其起點たる清津港は海事行政機關擴張の必要上從來の如く元山出張所の支配下に置く能はざるを以て四月一日より新たに駐在所を設け當分は清津郵便局内に併置すべしと

◎元山商銀設立申請

元山商業銀行設立申請は十九日其筋に提出したり(元山)

◎大保丸避難

去る十八日敦賀を解纜したる組合汽船會社の大保丸は風浪と濃霧の爲め隱岐國西郷港へ避難したるを以て清津著は二三日遲延すべしと

◎商議運輸部委員會

京城商業會議所にては二十二日午後二時より同所運輸部委員會を開き既報京城運送業組合の集配賃並に到著手數料値上げに關し種々凝議する所ありたり

◎府協議員任期滿了

京城府協議員十六名中來る四月六日迄に任期滿了となるもの十五名あり近く後任者の任命を見る筈なり

◎内田大使著京

歸朝の途にある内田大使一行は既報の如く滿鮮特急列車にて二十二日午後八時五十分著京の豫定なりしも東清線に故障生じたる爲め豫定より二時間遲れ十時五十分南大門驛著入京の旨其の筋に電報ありたり

◎公立普通學校決算

京畿道管内に於ける大正五年度公立普通學校歳入出決算を聞くに學校數六十、學級數二百四十八、生徒數一萬三百八十七名にして歳入合計二十二萬七千八十四圓三十九錢、歳出合計二十一萬六千百八十七圓九十六錢を算し即ち一校當り經常費三千八百九十圓三十錢、一學級當り經常費六百六十九圓二十八錢四厘、生徒一名當り經常費十六圓六十九錢五厘を示せるが決算狀況左の如し

▲歳入經常部 基本財産收入七百五十一圓…… 授業料一萬一千六百九十七圓二十八錢五厘…… 其他財産收入……圓五十一錢九十錢寄附金……

▲同臨時部 繰越金一萬五千四百四十圓……其他財産收入……地方費補助金十二萬……五厘計七萬九千百四十一圓八十……

▲歳出經常部 俸給十一萬二千四百四十……圓十五錢旅費四千七百七十四圓八十三錢雜給一萬九千十四圓三十錢消耗品費一萬四十三錢七百五十二圓五錢五厘消耗品費一萬四十三圓十三錢通信運搬費一千八百四十二圓四十四錢五厘圖書納金七百七十五圓九十五錢雜費五千七百十一圓九十六錢退職給與金二百二十六圓五十一錢基本財産費八十六圓三十四錢修繕費九千七百五十四圓八十錢簡易農業學校費三千六百十五圓五十三錢五厘計十七萬七千三十八圓七錢五厘

▲同臨時部 校舍建築費三萬二千三百三十二圓四十二錢其他六千八百十七圓四十六錢五厘計三萬五千百四十九圓八十八錢五厘なりと

◎阪谷男入京期

支那財政顧問阪谷芳郎男一行九名は外務省業家四名は二十四日夜釜山上陸同夜北行京城に下車夫れより北京へ赴くべき旨釜山派出所へ入電ありたるが一行の氏名左の如し

▲阪谷芳郎男▲大阪稅務監督局事務官公森太郎▲外國貿易局書記官山下龜次郎▲同小田淸吉▲同古間次郎▲同小成和志夫▲同居庶務係

◎谷田少將入京

陸軍運輸部本部長谷田少將は村岡大佐須田少佐を隨へ二十二日朝釜山より入京午前十時總督府に長谷川總督並に高橋武官を訪問し正午辭去せり

◎軍司令官檢閲視察

軍司令官松川中將は目下行はれつゝある步兵第七十八及び七十九聯隊の第一期檢閲を二十二日二十三日の兩日間爲すべしと

◎立花師團長歸任

北鮮地方巡閲中なりし第十九師團長立花小一郎中將一行は二十一日午後元山發平康に向ひたるが二十二日午後五時四十分龍山歸任の筈

◎野手稅關長著任

新任釜山稅關長野手耐氏は二十一日午後七時著任せり(釜山)

◎朝倉滿鐵販賣課長退職

滿鐵本社販賣課長朝倉傳二郎氏は十九日退職せり

◎二本岡本兩氏出發

既報の如く來る四月六日より東京に於て開催さるべき日支連絡會議に滿鐵側列席者は久保京管局長及び三本岡本の兩職員なるが久保局長も近日中氏は既に二十二日朝入京し同夜出發の筈なるが久保局長も近日中に出發すべしと

◎公立農業學校新設

鏡城公立農業學校は三月十八日附を以て其筋より新設を認可されたるが其位置は咸鏡北道鏡城郡梧村面なりと

◎學生の總督府參觀

京城高等普通學校師範科並に教員養成所卒業生一同は二十日午前九時三十分同校教員引率の下に總督府に抵り係員の案内にて府内を參觀したり

═木浦═

▲府協議會 木浦府協議會は二十日開會大正七年度歳入出豫算を附議する筈なるが大要は歳入經常部二萬八千五百三十八圓臨時部四千四百二十圓歳出經常部二萬二千八百二十九圓臨時部一萬二千二十九圓にて前年度と殆ど同一なるも汚物掃除費に於て從來請負に付したるを本年度より府の直營とする目論見にて前年の三千五圓に比し千三十三圓を増加し消防器具買入に腕用喞筒一臺代千圓を計上せし位にて他に特筆すべきものなし

▲學校組合會 學校組合會にては二十二日午後二時開會の筈なるが決議案は一、學校組合吏員宿舍料支給規程中改正の件二、木浦學校組合金庫設置の件三、同金庫事務取扱規則制定の件四、同金庫事務取扱銀行指定の件五、大正七年度歳入出豫算六、同戸別割賦課等級及賦課率七、豫算金額項以下先決處分委任の件八、同年度内一時借入金の件等にして七年度歳入出豫算は大正七年度歳入二萬九千八百七十四圓歳出同額内經常部一萬八千八百六十四圓臨時部一萬千六圓にして前年と比すれば國庫及び地方補助金に二千五百六十一圓を減じ歳出に於ては諸物價騰貴の爲め一時組合債繰延の協議會を開きし位なれば本年の豫算は多少の議論を見るべしとの事なり

▲卒業式 木浦小學校卒業式は來る廿五日擧行の筈なるが本年卒業生は高等科二十七名女二十名尋常科男三十一名女廿九名なりと

═群山═

▲農校卒業式 群山公立農業學校第七回卒業式は二十日午前十一時より同校大講堂に於て擧行李全北道長官代理八幡技師天野群山府尹趙沃溝郡守其他來賓生徒父兄多數臨席し君が代勤語奉讀、學事報告、證書賞品授與、模範生表彰、校長訓告、長官訓示代讀、來賓祝辭演説、在學生總代送別辭、卒業生總代答辭の順序を以て擧式あり卒業生二十四名修業生三十二名にして卒業生は學者一名、鑛業又は種苗場見習者三名等を除く外十八名は夫々各方面に就職すべく内約を了したりと

▲沃溝軍人會 沃溝郡地境に於ける在郷軍人會沃溝分會は從來群山分會所屬沃溝郡内在住の在郷軍人を以て成り近時郡内會員の増加に鑑み群山分會より分離し今回創立せられたるものなるが二十一日春季皇靈祭の佳辰をトし地境大倉農場構内に於て盛大なる發會式を擧行したり

人事消息

▲武藤江原道第一部長 廿日夜入京不知火へ

▲金澤文學博士 二十一日退京内地へ

▲木島副議氏(總督府事務官) 慶尙南道京釜沿線地方へ出張を命ぜらる四日間の豫定

▲富士英氏(京城駐在支那領事) 二十一日釜山より歸京

▲蒲田大佐(龍山砲兵聯隊長) 二十一日退京

▲矢野久三郎氏(營林廠長) 廿一日退京赴任

▲吉村謙一郎氏(鎭南浦稅關長) 廿一日歸任

▲岡村釜山驛長 二十日夜入京

▲田中三雄氏(全北道事務官) 二十日入京不知火へ

▲須藤素氏(江原道一部長) 廿日入京不知火へ

▲村岡大佐(教育總監部本部課長) 二十一日夜入京巴城館へ

▲渡邊高等法院長 二十一日水原より歸京

東京より 在京一記者

獨逸東漸と極東問題(上)

出兵反對論に就て

○世上、西伯利亞出兵に反對するもの、少なしとせずと雖も、其の理由とする所は、左の數説に過ぎざるものゝ如し。

第一 出兵不可ならずと雖も、時機尙早なりと云ふもの。

第二 日本にして出兵するに於ては獨逸の觀念聯合を促すに至るべしと云ふもの。

第三 獨逸は全力を西部戰線に傾注せむとしつゝあるを以て東漸の虞なかるべしと云ふもの。

第四 獨逸は東邦よりも印度侵入の計畫あるを以て西伯利出兵の必要なしと云ふもの。

第五 自衞の爲に出兵すれば可なりと雖も、侵略の爲にするは不可なりと云ふもの。

第六 出兵は財政の危機を招き得失相償はずと云ふもの。

第七 英佛伊の聯合國は、本の出兵を慫慂するが如しと雖も米國は必ずしも之に賛成せずと云ふもの。

其他、日本の出兵は懸軍千里、勞して功無しと云ふもののなきに非ずと雖も、出兵反對の理由は大體上述の如きに過ぎず。

○第一に吾人の出兵反對論者に問はざる可からざるものは、時機尙早と云ふ説是れ也。知らず、彼は何れの時を以て出兵の時機と爲すか、彼等が時機尙早論を唱へつゝある間に、獨逸は益々東漸の準備を整ひつゝあるに非ずや。彼等が議論未だ決せざる間に、獨逸と露國過激派との連絡は益々濃厚を加へつゝ、形勢を觀望しつゝある間に不斷、獨墺俘虜の西伯利方面に屯在するものは、皆解放せられて其の武装を準備しつゝあるに非ずや。彼等の所謂時機なるものは、露國が獨逸軍國主義の下に緊縛せられ、其の民族が政治的に經濟的に獨逸化せらるゝ時を謂ふ乎。將た支那西北方面が獨露兩勢力の爲に蹂躙せられ、支那民族が獨逸化せられむとする時を謂ふ乎。將た獨逸潜水艇の日本海に跋扈し、獨逸航空隊の東京城に襲來せむとする時を謂ふ乎。論者の所謂時機とは果して何れの時ぞや。

○吾人が茲に出兵の已む可からざるを唱ふるものは、決して無病呻吟の爲めに非ず、露國の獨逸化せらるゝを未然に防がむが爲め也。支那の獨逸化せらるゝを未萠に制せむが爲め也。露國の獨逸化、支那の獨逸化を待つて、出動するが如きは却て時機を失する所以にあらざるなき歟。吾人が出兵時機の迅速を貴ばざる可からざる所以のものは、之れが爲めのみ。

九州要地歷訪(四)

門司にて 別府生

◇大疑獄の實質

◆天下を驚かしたる九鐵、鑛務並に八幡製鐵所員の收賄疑獄事件は、其の場所の中心北九州にあるを以て、當地方の人士中には何等かの利害關係者くば問題に對する多少の知見を有するもの多く、殊に門司は九州管理局の所在地たると鐵道關係者收賄を敢てせし本場たる北筑石炭集散の本場なるに付、其の事件の經過に對する注意力は餘程深きものあるやうに候

◆十六日福岡地方裁判所に於て鐵道關係並に製鐵所二瀨炭坑方面の豫審決定書發表され、十七日の新聞は何れも之れを滿載し居れるが、蓋が開いて見れば其の頭數に於てこそ三十數名を算し、少からざる樣なれど、收賄の額は極めて些少にて『何だ之れ式か』と云はざるを得ざる樣の感を抱かしめ候、乃ち二瀨、鐵道方面の收賄總額は三十九名、此の賄賂高合計八千八百圓に付之れを頭割にすると、御一人前二百圓強の算するに非常にお安いものとなるなり

◆『コレで天下より北九州人を瞰收賄人種のやうに思はれ、其の表看板を汚されて堪るかい、大事件だの大疑獄だのと云ふ、その『大』が情なかつて泣きだすぞ』と洒落てゐる人も有之候か、事實は到底そんなチツポけなものには之れなき候由にて、豫審決定書の示せる以△上△の△事△實△と△認△め△ら△る△數△な△は△、頗△る△明△白△の△事△實△と△認△め△ら△れ△し△も△の△の△み△、此△外△に△闇△よ△り△闇△に△葬△ら△れ△收△め△ら△れ△し△現△金△切△手△物△品△は△何△れ△も△何△十△倍△若△く△は△何△百△倍△に△及△び△居△れ△り△との事に候、唯それが明るみに出でざるまでとなり居らざる爲豫審並に判事も起訴を看過せらるし鐵道判任被告中の●例せば鐵道判任被告中の四五名の如き、此の徴凝乎と那邊んでゐて、一生安樂に暮せるだけの資を積み居れりと云ひ、收賄額も多き樣に見ゆる九管炭車配給主任の如きは、判任一級にして日給も十數年間勤續し來れる井上某をして十數年間勤續し來れるに拘はらず猶其の資産は莫大なる金錢を湯水の如く使ひ捨てゐたるに拘はらず猶は其の資産は莫大なりとの事に候

◆鐵道關係收賄の弊は遠く九鐵の會社時代に發せしものにて因襲の久しき、賄收者共に之を罪惡視し居らざりしもの如し、又近年其の惡風の益々盛んとなりしは石炭の暴騰、財界の好調による一般風潮の奢侈傾向、劇務に服する現業員の薄給を生活難にあり

◆檢事局にても餘りに關係廣汎なるを以て現金並に切手に非ざる物品の盆暮の贈收は明白なるも之を默過せりとの事にて候、若し之れを檢擧せば關係者の數は非常の數となりしならん、要するに此の事件は三角形を地中に埋めたる如きものにて、その外部に露出せるは尖端の一小部分と見るも妥當を缺がざる如く候

十一月一日現行

●春季釋奠

＝東小門內經學院にて

(上)釋奠(下)長谷川總督

●帝國軍艦の雄姿港頭を壓す浦港(ウラジオストツク)

◇食糧品は寧ろ豐富なり◇

西村特派員廿日浦鹽發電

記者を乘せたる平安丸は十七日夜無事浦鹽に到着、バリスターン埠頭に横着けと爲れり、先づ目を惹きたるは

◆帝國軍艦の 雄姿英米の軍艦と共に、宛として、泙城の如く、港頭を壓し、威風邊りを拂へり、眼を轉ずれば浦鹽市街は長蛇の如く厚ぼたき露西亞式の洋館群々と重なり合つて建並ぶを見る、斯て記者は上陸せり、過激派が税關埠頭を占領し、或は

◇各國軍隊より 陸戰隊を上陸せしめたりなど物騷なる噂傳へられしも一瞥する處、市中は極めて平穩なり、記者の如きも上陸前迄は不穩の空氣漲れるもの〻如く豫想したるも、觀ると聽くとは大違ひ、スエツランスカヤ街の如き、人馬の往來織るが如く浦鹽の銀座街とも云ふ可き

◆不穩の風は 何處を吹くと謂はん許なり、其の後領事館を歷訪せるが、何れも日本內地に於けると初め、在留邦人の、主なる者を、除り大袈裟なるに、意外の感に打れ、且一部の人々より頻々として、引揚を促し來るより尠からぬ迷惑を感じ居れるもの〻如し、最も、一時は

◆過激派が無法 極まる要求を爲したる爲め穩和派に屬する露人及び在留外人は、強硬に、抗議せるなど緊張せる場面を見せたる事あれど是れとて、險惡と云ふ程にはあらざりしと、唯だ社會狀態不完全なる爲め、夜中屢々、強盜殺人等の慘劇行はれ、諸所に

◆銃聲を聞く 事あり、現に數日前、ベキンスカヤ街にて、赤衞兵と、民兵との、衝突あり、又二十日も午前二時頃セメノフスカヤ街の、邦人商店長田某方に三名の露人強盜侵入して拳銃を亂射して現金五千留を强奪し去りたる事實ありしが、斯の如きは昔より

◆西伯利の名物 にて何等珍らしき事に非ずと、在留邦人は目下五千內外なれど、是等は引揚ぐる處に非ずと何も、平氣に其職務に從ひ今後も若し不穩の事あるも、帝國軍艦警備せる以上、恐も惑ふる處無しと、樂觀し居れり唯だ一般商店は、銀行支拂停止に依り

◆取引不可能 となり、折角輸入せるものも、積み戻すなど尠からず、打擊を感せるもの〻如し、之は露人側を初め、在留外人も、同樣なれど、其半面に於て、料理店、寄席等が繁昌せるは、頗る、奇なる現象と謂ふ可し、物貨は輸入の途なく、漸次缺乏しつ〻あるは、事實なるも

◆奢侈品を除ば 他に傳へらる如く窮迫を感じ居らず、或種の食糧品の如きは、寧ろ、豐富なるを思はしむ、唯だ是等は手持筋が前途を見越して、賣惜みせる爲め、相場の高きこと、驚く許り、白米の如き、一斗三十留を唱へ、爲めに邦人は迷惑しつ〻あり(廿日)

●春季釋奠

總督以下臨席

廿一日經學院大成殿にて

二十一日午前九時より東小門內經學院大成殿に於て春季釋奠は嚴かに擧行されたり大提學金允植子爵は病氣の爲め副提學李容稙子爵、朴齊斌男爵以下祭官全部、各道よりの講士等何れも

◆明の古式 に依る祭服にて嚴定の位置に著く、軈て赤靑等の彩りある服裝の樂生に依りて古典的なる奏樂は始められ燎火燃ゑて典儀初まる頃、釜屋高橋兩武官を隨へて長谷川總督の

◆臨場 著席あり其の他宇佐美長官、關屋局長、子爵權重顯氏以下多數の貴族夫れ〲著席あり奏樂裡に一同四拜の敬禮あり腰かき日を浴びつ〻

◆一同禁殿 の氣分にしたる聽て初獻官代理李容稙子は孔子の神位前に跪坐して禮拜、獻爵の儀あり祭文朗讀を嚴かに執り行ふ、以下奏樂中に各祭官の獻爵あり飲福禮終れば

◆總督を皆 め參列文武官の拜ありたり添香禮あり祭官以下四拜して神饌の一部を撤す、此間登歌樂安の奏樂あり、斯くて四拜の禮あり初獻官代理は大祝祭文と幣帛とを燎燒す樂止みて茲に滯なく

◆釋奠の儀 を終り總督獻官等漸次退席、終りて明倫堂にて講

●滿鐵社員の遭難

＝山東にて馬賊に射殺さる

凶報を得たる夫人前後不覺となる

滿鐵地質課員加藤直三氏(四三)は礦學士と共に滿鐵より山東各地方の地質調査を命ぜられ出張中十六日海陽縣を發し午頃郎家を距る西方卅五支里の地點にて馬賊の一團に襲擊され加藤氏は

◇胸部を射擊 され即死し碧海氏は頭部に打撲傷を受け辛うじて一命を取止め十九日青島に出で右の旨報じ來れり加藤氏は四十年九月滿鐵に入社謹直にして精勤の聞わあり右に就き課長木戶忠太郎氏を訪へば慨然として『加藤君は鑛物學及び

◇支那語に精 通じ我が社の礦脈の如く力に爲し居たり滋賀縣膳所の藩士にして杉浦重剛氏の門に學び主義の人なり眞に氣の毒に堪へず』と同所の藩士江見水蔭氏等と同學にて何とも言ひやう無し遺骸は二十三日青島より著連すべしと又遺族を播磨町の自宅に訪へば夫人宮子(三)は昨年三男達男(三)に死に別れ追憶の涙新たなる折柄とて

◇凶報を聞く や驚きのあまりに顚倒し前後不覺にて臥床中なり夫婦の中に男子二人あり孰れも未だ頑是なく父の奇禍を知らざるもの〻如く嬉々として遊び居たり(大連特電)

●暴民五百

面事務所を襲ふ

鐵原分隊に逮捕し目下取調中

三月十三日正午鐵原郡馬場面石橋里に數百名よりなる暴動蜂起し同面事務所に來襲せりとの急報に接し鐵原憲兵分隊より山口軍曹以下十一名を率ゐて現場に急行したる處事の起りは愚民の附和雷同にして深き根柢あるにあらず兎角平素同面々長李輔憲對面民の間に於ける

◆意志の疎通 を缺ぎたるに原因せるものにして當時偶々鐵原郡廳より小越郡書記同面に出張中なるを機とし監督官吏の面前に於て李面長の不正行爲を糺さんとして五百數十名の面民徒黨を組み一時に面事務所に殺到し來りたるものにて是より先き石橋憲兵出張所員は之等の面民に對し極力鎭撫に努め解散を命じたりしも多勢をたのめる五百餘の暴民等は遂に李面長を屋外に拉し

◆袋叩きにし 餘勢は憲兵出張所にも襲擊せんとするの兆候見わしかば同出張所は事容易ならざるを慮り直に急報を發したる爲前記の鐵原分隊員及び安峽分遣所より羽[illegible]伍長以下三名現場に向ひ難なく解散せしめたる次第なりと而して首魁者として同面里六統十戶崔炳[illegible](四九)外十二名を逮捕し目下鐵原分隊に於て取調中なるが關係者拘引せらるべきもの多數なりん(鐵原特信)

●京城高女卒業式

卒業生百卅五名入學生の九割の卒業

京城公立高等女學校にては二十二日午前十時より同校に於て第十回卒業證書授與式を擧行せり職員生徒、父兄來賓一同著席するや唱歌君ケ代、勅語奉讀、同奉答歌に次ぎ學校長本年度の學事報告を爲し卒業生百卅五名に對し卒業證書を授與し

◆優等生 兒島幸子、石橋淸野、山縣まりの三名に對しては京畿道よりの賞品『言海』各一部宛を、四箇年間皆出席者三名、三箇年間皆出席者七名、本學年間皆出席者二十三名には夫々賞狀を授與し卒業生一同に訓諭する處あり釜屋總督附武官總督の

◆訓辭を 代讀し松永道長官祝辭を述べ卒業生總代の答辭挨拶あり告別の歌を合唱し式を終る本年の卒業生百卅五名は入學當時の百五十名に對し九割に當り斯る成績は孰れの學校に於ても甚だ稀なる現象と云ふ可し卒業生中

◆七名は 尚進んで高等程度の諸學校へ入學希望にて又十七名は京城女子高等普通學校師範科へ入學し將來鮮人子弟の教育に從事する希望なる由尚當日階上にて生徒成績品展覽會を開催し父兄母姉及び同窓生多數縱覽せり

卒業生氏名(五十音順)

相澤文△赤崎よつ△淺生きた△阿部とみ△有江はい△飯川みす△井川美代△池尻倫枝△石川せつ△石橋清野△伊藤美智△岩山みち△芋川なみ△岩田きよ△岩橋[illegible]子△[illegible]

京城高女卒業式

●五月場所

十日初日に決す

東京角力協會にては夏場所御免[illegible]を四月二十二日執行し五月五日朝番附發表九日觸太鼓十日初日と決せる旨二十日發表せり(東京特電)

(前掲)關屋學務局長、釜屋海軍少將、谷府尹、上田視學官、各學校長、學校組合議員等なり

●春を!訪ねて

＝訪ねて＝

□漢江 □神社 (漢江に臨んで建られた三ツのお宮家族づれで遊びに行くに好い所)

お彼岸日和のポカ〱と温かい二十二日の朝、漢江の對岸、鷺梁津の東方象頭山にある漢江神社附近の春色を訪ねてゆく、新龍山の終點で電車を降りてから

◆十四五丁 もあらうかと思はれるけれども、その途中には漢江の人道橋があつて、春水落々として緩やかに流れる江面に浮ぶ小舟、西氷庫のあたりに隱現する帆船、鏡のやうに澄みきつた水面に映つる雲の色などの變化に富んだ兩岸の風色を眺めながらゆけば、知らず知らず鷺梁津に著いて終ふ、漢江大橋を渡り終ると直ぐそこから

◆左折して 上つてゆく道がある、扱け目の無い商人の手がいつの間にか『仲々商店』とかいふ日射人のよけに此の邊に伸びて、『漢金樓』と稱拜所が出來てゐる、そこから十三四丁も行くと大小のお宮が並んで見わる、これが兎も角漢江神社の前へ出る、その右の一番端の漢江に面した方が漢江神社である、その右に鳥渡奧まつたところにあるのが志岐神社、右の端に三箇所に分れて建てられてある社を潛つて一丁も行くと大小のお宮が

◆朱塗の華 表が澤山ある奧に同じ赤色のお宮が稲荷神社である、漢江神社の直ぐ下は漢江で、この境內に立つて望めば京城龍山の市街は一目に見渡される絕景である、亦境內は極めて廣く一面の芝原で日當りのいゝ小松林があり、電車からは少し遠いけれども漢江橋を渡れば直きであるし、家族づれで行くには最もいゝ遊び場所であらうと思ふ

◆お宮の前 には小さな木札に各神社の祭神の名だの由來だのが記されてある、それによると漢江神社は菅原大神、金刀比羅大神、宮地嶽大神を祭り、志岐神社は『志岐家の祖神林泉公を祀り』云々と說明がついてゐる、何れも志岐組の鎭守神で志岐組の建立にかゝるもの、境內の高い所にはベンチなどが澤山あつて參詣者を待つてゐる

商況

東京期米	廿二日後場
二限	二十六圓七十六錢

兵庫期米 廿二日前場 二限寄付 二十六圓四十八錢 三限 四十七錢

大阪株式特電 (廿二日)

銘柄	前引	後場
大阪株式	[illegible]	[illegible]
東洋紡績	[illegible]	[illegible]
大日本紡績	[illegible]	[illegible]
鐘淵紡績	[illegible]	[illegible]
大阪商船	[illegible]	[illegible]
日本郵船	[illegible]	[illegible]
阪神電鐵	[illegible]	[illegible]
京阪電鐵	[illegible]	[illegible]

大阪三品特電 [illegible]

大阪期米特電 廿二日前場 當限寄付 二十六圓七〇 中限寄付 二十六圓四四 先限寄付

下關期米特電 二十日後場 [illegible]

雜 [illegible]

●二百四百圓臺 綿糸布界は海外各國の棉花と支那及内地の輸出好望に漸く買氣を乘せ[illegible]

各捌共逐に五限以降は四百圓

內外奔騰現物十圓

一圓七十錢三銘

綿布は龍レー十

先物七十五錢

●毛斯は步調

高值百二厘五毛

●正米狀變り

●稍高含み模樣

賣人又居直り

●支那粟上支は何等の新機

●上支二十五錢

持合の商狀を示す

●大豆は軟調

氣配も漸く

●鮮白引返す

二三十錢方を引落

日來更に上五十錢中

●精米更に小安く

二十錢安の二十六圓五十錢

市中卸值

●機械油高報

約二十錢方を跳ね

漸く底入

返二十四圓二十錢を小戻き

●內地麥類氣配

當分現狀維持

三十錢方の値上

小麥

製麥安

下關相場

△朝鮮米は手堅し 其後支米九百六十一以正米二百以等の輸入あり[illegible]

各地商況

釜山正米(二十日)

南大門の廻穀

仁川正米

二十二圓二十錢三等合格品

約五千叺出來の事

氣配に二三十錢又復買萌

生魚市場

仁川期米

(頭重し) 二十二日前場

△第一節 各地前寄未着にて當地先二十二圓〇

大阪前寄一十六錢止より五錢高の入伴

今の戾り待ち賣物

大五仲買店 仁川米豆取引所 店主 猪飼政太郎

三錢と一昨止より八錢高に寄付

大阪前寄一十六

圓四十錢と一昨止より五錢高の入伴

賣物多く更に一圓丁

優勢に賣らんとす

仁川取引所

二十二日の五月限

市場雜觀

◎鮮米相場は廿二日 [illegible]

▲大氣迷に氣迷ふ

▲天候晴天上日和

七錢と結局保合

圓九十六錢と押

裡に伸悩み成行を示す

(イ) 仁川米豆取引所仲買人 今村覺次郎 仁川海岸町三丁目 電話長三二六八番

天氣 晴れ

大阪期米

△二十二日後場 △當限寄付

仁川期米

	安値	止め
	二五、六〇	二五、六五
	二五、六四	二五、六九
	二五、五九	二五、六八

先限一節二十一圓九十八錢八厘四錢三錢二錢一錢二錢三錢四錢二節九十二錢三錢二錢三錢三節九十三錢四錢四節九十四錢三錢

平均値段 一節 二十一圓九十三錢 二節 二十一圓九十三錢 三節 二十一圓九十三錢 四節 二十一圓九十四錢

永留小太郎、同美代子、久根勇賀藏、同三七、倉津運平、白井平治、能町彦四郎、森本清吉、木谷久一、中村助、木下健六、衣笠三、藤田國雄、小西役三、倉田亥三郎、黑田しず、司さだ、加藤らく、同志枝、大島滿一、[illegible]

一等(三名)市川榮、同美作、外人一名 二等(十九名)[illegible]、佐五郎、田中安太郎、郎、山田萬、郎、渡邊新藏、佐太郎、合志高明、同まさめ、[illegible]

二十一日午後釜山入港宣蛟丸上陸

二等(五名)佐藤[illegible]

定期船

(天氣) 晴れ 二十二日午後六時迄 三月廿三日

(仁川) [illegible]

●砂金と材木と獸皮との ブラゴエチエンスク

◆朝鮮人の砂金鑛夫で御馴染の地◆

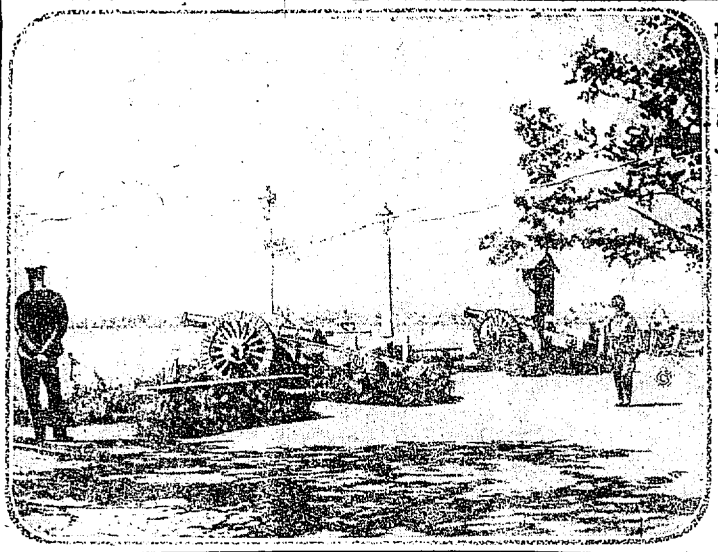
◆萬里の流れ黒龍江上で按節と唄ふ時節が來た◆

あゝ朝鮮人の砂金坑夫でお馴染のブラゴエシチエンスク……先日過激派と邦人の衝突したブラゴエシチエンスク……

◆金儲けの好きな仕事師は昨今黒龍江畔の此處を忘却してはならぬ、黒龍江の流域は實に北滿の大富源、鑛山に森林に漁業に無限の富が轉がつてゐる所だ露人の極東經營の手が此の方面に及んだのは僅々五十年前のこと、有名な新領土の統治者ムラヰヨフ總督の苦心によつて黒龍江左岸の寳庫は拓殖されたのであつた、江畔露人の植民は露國の革命家クロポトキン公の

◆◆革命者の手記中にも詳しく記されてある、公は今から五十年前親しく根本の新領土を視察したのであつた、而しながら最初の露人が此の方面に出たのは今からザツト二百五六十年前のこと、一千六百四十二年ポアルコフ、ハバロフの二露西亞人は黒龍江の探險によつて其の

◆◆無限の大富源に驚いたが其の土産談しを聞き傳へた露國人は盛んに極東へ極東へと志したのであつた、乃ち黒龍江左岸一帶の地が悉く露領となつたのは一千八百五十八年の愛琿條約以來の



◆ブラゴエチエンスクの公園（黒龍江畔には古き砲車を陳列しあり）

事であるが露國の植民は西部西比利亞程の成功を擧げ得ざるやうであつた、黒龍江の流れに臨んでブラゴエは江岸に支那のジャンクや汽船が碇泊する、陸にはまた奥地から來る駱駝の隊商がいろ／＼な商物を運んで來る、それに大きな商店もあれば露國特有の巨きな寺院もある寺も住宅も

◆大きな木材の建物が多く流れを下つて鮭や鱒のコラニエウスクにも航が通ふしまたハバロフスクにも交通自由で哈爾賓へはまた松花江を溯つて舟艀の便がある、ブラゴエシチエンスクと黒龍江の流れ、日本人は今少し此の兩者の名に親まねばならぬ、大正七年の日本人は最早や鴨綠江や遼河の流れを云爲すべき時でない

◆◆進んで萬里の流れ黒龍江畔に雄飛を謡ふべき時期が來た、砂金のブラゴエ、材木のブラゴエ、獸皮のブラゴエ、貿易のブラゴエ!!北滿の天地は方に邦人の活躍すべき天地である

（附記）此項は前號所載『ブラゴエチエンシスク』に於ける衝突の原因は斯うであつたの顛末なり（楽天）

●西鮮第一の稱ある 漢川浦の漁利

（石首魚グチ太刀魚其他）

平南平原郡漢川浦は西朝鮮海に臨み人口六百餘を有する漁村にして西鮮地方第一位の漁場として其名水産界に高き所なるが從來同地を他地方殊に平壤との交通機關完備せざる爲め折角の漁獲物も其販路に窮し多くは鹽魚として直接船便にて鎭南浦平壤等へ搬出するを常とし

◆經濟上尠からざる不利益を蒙りゐたり◆ 然るに本年度に於て目下工事中なる平壤二等道路は來る四月を以て竣成すべく平壤自動車商會の如きも近く漢川との自動車營業を開始すべく亦一面道路設立されたる平漢運輸組に於ては生魚を馬車六臺を以て平壤に搬出すべき準備計畫案成り居れるが斯は毎日平壤より三臺漢川より三臺の馬車を發せしむるものにて其一臺の生魚積載額は半噸約百圓即ち三臺を以て一箇月九千圓、漁期六箇月間に於て五萬四千圓を平壤市場に搬出する譯なり而して同地目下の鮮人出漁船は五十八隻及び内地其他よりの通漁船二百餘隻にして昨年度の漁獲高は漢川浦のみにて二十萬圓の巨額に達し居り同地魚問屋金敬麟、安克泰、崔瀰澈の三名は結氷期間中之等漁夫に對し

◆現金物品等を（月三歩の割合にて貸付け）漁期間に於て其回收を圖りつゝあり一箇年優に數萬圓の利益を收めゐるの狀態なり斯の如き狀態にして今や將に漁期に入らんとするに當り目下内地通漁船百十三隻は忠南群山沖牛島、黄海道大延坪島近海の漁業を終ると共に四月中旬頃より漢川浦に入り十一月中まで漁獲に從事すべく現在は主として鮟鱇網を用ひつゝ石首魚を漁獲するものなるが其他漁期間に於ける同近海の漁獲物中主なる魚介類は水母、蛤、魴、太刀魚、河豚を初め鯛、鰻、鰈、鱸、鰆、鯖、鮃、鮑、鱶、魟、鰤、鱈、鰊、鰯、火魚、鮎、鯉、白魚等なりとて此の新販路に依り本年は其販路上に一大革新を施すべきと一方上述の如く交通機關の完備と兩々相俟つて同地の漁業は益々進展の域に向ふべきと共に平壤の如きも他方面より移入魚を仰がずとも漢川魚を以て滿足すべきや必然なり（平壤）

●鴨綠江開閉橋 開閉始まる

廿三四日頃より

國境鴨綠江も愈々解氷せしを以て二十三四日頃より克戎の入港を見るべく鴨江大鐵橋も兩三日中より開閉の開始を見るべしといへり

●單身穴に入りて 熊を捕殺す

北熙川郡眞面杏川洞農康炳秀と云ふ强力男去る四日同面長坪洞如雲作站の岩窟に赴きたるに一頭の大なる牝熊の潜み居るを發見し其儘同岩窟に押入り自慢の強力にて熊を引出し大格闘の上遂に熊を組伏せ棍棒を以て撲殺したるが此熊は體量卅六貫の老熊なりしと

料理の秘訣（四）

◇燃料や調味品に氣を

『空湯をたぎらせる家は貧乏になる』

油斷のならぬものでこの二つに注意を缺くと折角の經濟料理も臺なしになつてしまひます。女中などを使つてゐる家ではとかくこの二つに無駄金がかゝつてゐる樣であります。

◆小さいことでも毎日のことですから少しの注意が行き屆かぬためには大した損となるのでございます手近い話ですが女中にでも瓦斯を使はせると一旦火を消してから鍋を下ろしてかあす可きところを鍋を下ろしてから火を消すやうなことをしたりまだしいのになるといつまでも

◆空火を燃やしてる場合など火をつけはなしにしておくことが少くございません併しこれはたゞに無考へな女中だけでなく一家の主婦たる方でもこの位のことは平氣でやつてゐられるのです殊に女學校の寄宿舍生活などをやつて來た若い婦人にこの種の方が往々見うけられるのであります。

◆焜爐に炭火を起した場合でも同じことで用もないのにいつまでも火をカン／＼と起してゐたり火を細めて煮物でもせねばならぬところそんなことは一切お構なしでやることが少くございません『空湯をたぎらせる家は貧乏になる』とか申しまして一旦煮たつた湯をいつまでもグラ／＼と煮わたゝせておくことがありますが

◆一事は萬事でこの調子で家事を執られてはどんな家でも貧乏神のお見舞を受けねば譯には參りますまい。

新をたいても同じことで心なしの人がたくと火は竈の外にばかり出てゐるやうなたき方をいたしますこれは餘談ですが京都のある田舍の經濟家の大金持ちがありましたがその主婦は竈に薪を焚く折は

◆一升德利に水を一杯入れて竈の前に置く事が常でありましたかうして置くとご飯でもお菜でも煮物の出來た頃には德利の水も湯になつてゐるのでそれを使へばわざ／＼お湯を沸す必要はなかつたとのことですが少し心を用ふると用ひないとでは一生の間にうくる損得の差がどれ程だか計り知れませんまた

◆調味品に就て申して見ても僅かの氣くばり方で非常な相違を招くのであります魚の煮出汁の殘つたときはそれに野菜物を入れて煮ておくと別に煮出汁を使はずに美味しいものがいたゞける譯でこんな經濟はありません。また醬油のつかひ餘りとか魚の汁や骨の餘つたのとか別にこれといつて用ひ道のないものはこれをその都度糠味噌にでも入れて交ぜておけば

◆廢物利用で美味い糠味噌漬けが食べられますからいふ風に考へていろ／＼と工夫して行けばさきからさきに面白い發明が出來て一家の經濟にもなれば樂しみともなるものであります

大連より

○大連政記公司が排日の張本人として常に物議を醸し居れるが此の程又々都督府防疫法規を潜りて多數の苦力を鼠疫流行地と指定し在る山東省より輸送し内密に關東州内に輸入し居るを發見したる都督府官憲は非常に狼狽し該苦力隊の侵入を防止し居れり

○元來山東出稼の苦力は濟南地方を経て大連に上陸し夫れより滿洲各地に頒布せらるゝを以て濟南地方の鼠疫流行は大連に取りては大なる危險を齎らすものなるを以て都督府にては之等苦力の渡來に對して嚴重なる檢疫を行ひ規定の日數を隔離所に停留する事となりたるを以て一時苦力の輸送は全く杜絶の姿となりたるが

○茲に於て苦力輸送を専門とする政記公司にては一時打撃を蒙る事となりたるを以て、種々考案の結果奸策を案出し所有船有利號を以て芝罘より山東出稼の苦力を乘船せしめ防疫取締の施行せられざる莊河廳管内里島に揚陸し陸路我關東州管内に輸送し以て我が防疫法の裏を掻き不徳の利を占め居たるが去る十一日も該密送船有利號を以て芝罘より千五百の苦力を輸送し里島より陸路關東州内に輸入中我官憲に發見せられ彼の惡辣手段は暴露せらるゝに至れり

○政記公司は大連に於て日支人を合して第一の船成金を以て目せられ其の蓄積せる財産も既に千數百萬に達せりと云ふ之れ一に我が官憲保護の下に彼が安堵して其の業に就き得たる結果にして彼は我官憲に對して多大の感謝を表すると共に日本人に對して好意を持つ事の至當なるに係らず事毎に彼の行動は日本人を排斥するの擧に出で日本人の居住を絶對的に拒ませる如き其の土地家屋の買收に當つても日本人の出來事として在大連邦人の最近の出來事として慨憤する處なりしが彼は其の財力を恃み何時大連を去るも可なりと放語し恬として改めず遂に我都督府の防疫法を裏切りて全然無効ならしむるの擧に出でたり

○政記公司の行動斯くの如く惡辣なるに到れば我亦之れに對して相當なる處置に出ずるは已むを得ざる次第にして之を都督府法規に照らすも彼に退去を命ずるを至當とすべく彼も亦抗辯の餘地を有せざるべし

○政記公司が今回山東苦力を輸送せる事は法律に抵觸せざるは勿論なれども彼の意趣の在る處は利を營む爲めに公安を害し德義を蹂躙して顧みざる主義なるを以て之に對し相當の制裁を加へざれば其の勢の停止する處なかるべし

●鴨江岸の馬賊

最近其筋に到著せる情報に依れば占中華、押山虎を頭目とせる五十三名の馬賊團は拳銃及び銃器を携帶し三月一日鴨綠江岸より約四里の奥地なる三道溝三道陽岔に現はれ同日午後十一時頃同地居住支那人李某方に侵入現金二圓四十錢衣類十數點（價格三十圓位）を掠奪し同地東方山中に姿を没せり二日三道溝保衞團に於ては之が情報を得たるも團員全部不在且人員不足なりとて出動せず

●高女生郵便局參觀

京城高等女學校生徒百名は廿日京城郵便局に於て局内郵便電信電話業の實況を見學したり因に同局にては何人に限らず參觀を許す由

◎實業裁縫學舍の生徒募集 府内三坂通所在同舍は設立以來益々盛大に赴き生徒も增加しつゝあるが今回更に内容に改善を加へ新に手藝の教師を加へ來る四月新學年に始する筈にて補缺生徒を募集すと云ふ向後は現在の場所狹隘なるを以て適當の所に移轉せん計畫なりと

見習文撰工募集

年齡十四歳以上十六歳迄の内地人男子にして尋常小學校卒業程度のもの五名見習文撰工として採用す希望者は自筆履歷書を携帶本社經理部へ申込まれたし

京城日報社

二十二日後場 當限 二五、六〇 中限 二五、六四 先限 二五、五九 二五、六〇 二五、六四 二五、六九

三錢と押し四錢二節九十三錢跡三四錢を往來し結局三錢と打止め

二十二日の五月限 寄付 止め 高値 安値 二十一圓八十錢 二十一圓九十三錢 二十一圓九十八錢 二十一圓八十一錢

[illegible] 一等（六名）鈴木亨、安田清華、木原藤七郎 二等（五十九名）宮内源太郎、金丸定蔵、桂田安次郎、明石章吉、辻鋒太郎、鳥谷藤二郎、後藤貞、吉井上恒、宮嶋清輔、小任畝郎、内山 [illegible]

廿日午後釜山入港對馬丸 一二等客 比良李之助、同こと、大野 [illegible] 齋藤慶三、同初子、山本藤蔵、同きさ、佐藤治作、永井太平、三等三百四八名

二十一日午前釜山入港 [illegible] 一二等客 一等五名 阿部操太郎、香椎照子、美村安太郎、上田松子、外人一名 二等（五十九名）福島應正、佐々木啓次、池田 [illegible] 三等（二百八十一名）

[illegible] 報 [illegible] 最低溫度 二十六度六分 三度三分

肺病 肋膜炎藥 責任販賣

肺病肋膜炎藥として其名を江湖に博したる長崎小ケ倉本願寺說教所内製出の安全の漢方的煎藥を併用差支なき主任能く萬言するよりも實驗は五日分の服藥に實驗にありと是迄多年全國各新聞に無代施藥の廣告をなし先づ五日分宛無代にて進呈し効能確認の上販賣持續して愛用者謝狀全國殆ど特約販賣店を院に陳列せしむる方法なしに全國快込者夥しき盛況は世人皆く知る處有名なる可能の事にて今や無代施藥は到底不可能に付責任を負ふこと可となりたる薬は本劑は氣管支喘息は勿論諸せ肺病肋膜炎は五圓八拾錢乃至五圓分に先づ三大概宜敷相成るも五期に一劑約五日分三圓入拾五圓乃至拾五圓又は五六日分試みの御方は發賣元濟生堂 [illegible] 發賣元 長崎小ケ倉天光合名會社 製劑人 同所本願寺說教所 牟田セイ

獸醫 矢野家畜病院 京城若草町九七番地 ◬病室設備

たんせき 最近の良劑 セキドミン

セキドミンは左記兩氏が苦辛の結果合議の上處方せられたるもので現今では日本で一つしかない、たんせきの良劑で其製法は錠劑にして用量は極めて少なく效能極めて顯著です論より證據直ぐ服用あれ

醫學士宮田先生 藥學士歌津先生 處方 セキドミン たんせき 歲月良劑

◎喉にぜら／＼する時◎流行感冒 ◎たん◎咽喉の發作に起る咳嗽 ◎せきは時候の變り目に ◎肺病に起因する咳 ◎せきにて明朝痛み音聲枯れ ◎ぜんそく又は病後のせき◎たん ◎ぜん又はれたる咳せき ◎せきの頼りこじせき◎夜中せき ◎小兒せき五等の人は今直試みよ ◎藥價一瓶五十錢●一圓二十五錢 ◎用分賣る十錢各地藥店にありご注意あれ

發賣 東京大阪市安土町 弘濟藥院

菓子職人 四名入用 至急 平壤南門通 井上日韓堂

東京美容院 色白藥 毛生藥

[illegible]

正しき補血強壯劑造劑 ブルトーゼは

一日に三回此位のコップに此位の分量を召上るドナタの體質をもカッチリと丈夫に血色美くしく變化し行く不思議なキゝメを獨占して居ります

茲に健康の生命がある

一瓶容量二百五十瓦入（約半ケ月分） 全國信用ある藥店にあり

（藥劑師中田幾助創製） 發賣元 大阪 東京 藤澤友吉商店

No.23

內科 小兒科 村上病院 京城永樂町二丁目（商品陳列館前） 院長 醫學士 村上龍藏 電話六二三番

あらゆるもの無手數にて取扱申候 化粧品石鹸問屋 加 伊勢勘 大阪市南久寶寺町三丁目 振替大阪二八二五番

最終編 鐵の爪 十五十六編 四卷

連續公開二ケ月に亘り滿都の人士を熱狂せしめたる『鐵の爪』會社一代の傑作と稱せらるゝ鐵の爪パテー會社が如何に大膽に如何に大袈裟に局を結ばんとするかを見よ『笑の面』の結末や如何に

目玉松之助 一派出演 ◇舊劇 駿河大納言 四卷 立花貞次郎 一派出演 ◇新派 ひな鳩 三卷

二十二日より 日活特約 大正館

株式 茲に驚倒的終結を告げんとする問題の怪寫眞鬼が出るか蛇が出るか

取引は如何にすればヨイ乎

▼株式取引とは果してドンナもの乎？ ▲如何にせば株式成金となり得る乎 ▼如何にせば株式の損失を免れる乎？ ▲株式へ出陣の好機は何時がよきか ▼今はドノ株を買へばキット儲る乎？

質問隨意 無料回答

（以上の疑問を有せらるゝ方は經驗の有無を記入小生宛申込めば無料にて詳細說明の勞を執る）

東京市日本橋區坂本町東京株式仲買人 沖野仲買店地方課主任 古島茂三郎

魚釣具及網 投卸賣小賣 京城永樂町貳丁目 吉備商會 電話三一四番 振替京四三二八番

鳥捕用カスミ網各種あり（御申越次第定價表進呈）

一番よく効く目藥は アドラ 唯一つ

アドラ目藥は高峯博士發見の最高良藥アドリナリンを主藥とす。全國藥店にあり

定價 拾錢 貳拾五錢

東京室町 泰昌製藥株式會社

內科 小兒科 呼吸器病 胃腸病 婦人病 今村醫院 京城若草町大通り 電話一八三二番

株式名義書換停止 來ル四月一日ヨリ第拾參回定期株主總會終了當日迄株式名義書換停止 大正七年三月 朝鮮皮革株式會社

在庫品賣却廣告 コンバン、コンデンシック蒸氣機械 高壓汽第一號一時壹臺 低壓汽第二號二時貳臺 衝程一呎×二呎八吋 振車直徑十呎、革車幅一呎八吋 實馬力汽壓百封度に付百九十五 附屬品完備 右安價を以て賣却致度候間御入用の御方は御來談又は御一報被下度 御相談に應ず可く候 平壤大和町 長電八四一 山中商店

鐵材 鋼鐵 浪板、平板 針金、洋釘 白神洋行 ペイント、油類一式 コークス、セメント、耐火煉瓦、モルタル、スコップ、シャブル 帶革、ロープ 機械、工具 附屬品 其他 京城 駒田帶革總代理店 （四國製帶一等大賞代理店）

質 倉庫完全 債券買入 杉本質店 京城櫻井町二丁目 香花園町電話三一〇三番

星印ソース 今やづいれの御家庭にてもソースは星印を御愛用になる 本品は其品質と賣行とに於てソース界の明星なり 全國到る處の洋酒食料品雜貨店にて販賣す 發賣元 大阪市 祭原伊太郎

塚原卜傳

第二十三席　悟道軒圓玉口演

塚原小太郎立止つて表札を見て居たが　小『ハヽア山本無過流槍術指南近江典膳としてある先頃赤城の山で對面したも近江典膳、確か無過流の槍を使つた、師は龜井新十郎だらうと仰しやつたが槍を執つては無双の妙手、何は兎もあれ通り懸つたのは幸ひ、一手立合を望んで見やう』と思ひ玄關口へ立懸つて　小『頼む　門『ドーレ』立出た若い弟子、稽古中と見えて頭からポツポと煙を立てゝ居る　門『何れから御來…』　小『拙者は當時浪人仕

科與四郎と申す者、先生に一手御指南に預りたく存じ罷出でました、宜しくお取次下さい　門『ハア少時お控へ下さい…先生仁科與四郎といふ若い修業者が參りましてお手合せを求めますが…　典『アヽ又來たか、何うも蒼蠅くて不可ねな、每日何人來るか知れん、二百も遣つて蹴しなさい』　門『畏りました』　來たんだらうから盆の上に二百文の錢を紙に包んで載せて持つて來て　門『エ、折角お訪ねになつたが主人典膳少々不快にて打臥して居ります、何分お立合申すこと叶はんに依つて甚だ輕少であるが之は御草鞋錢』　小『何でござる之は……』　門『鳥目二百文…』　小『默れ、無禮千萬、拙者は典膳殿へ御目に懸りに參つた、鳥目の無

心に參つた譯ではない、御不快とあればお立合を願はんでも宜い、御目に懸つて門人衆とでも御手合せをすれば其で結構然るに無禮千萬にも草鞋錢などゝ解して鳥目を持出して參つて乞食扱ひにいたす人靜を見て事をいたせ　門『ア、左樣でござるか大きに失禮……先生仲々理屈ばい奴で踏りません、乞食扱ひにしたといつて怒つて居ります　典『ウム、厄介な奴が來たな然らば道場へ通せ、性の付くやうに痛い目に遇はして遣らう　門『其

れが宜しうございませう……エ、御待遠樣で、此方へお通り下さい』案内に隨つて小太郎道場へ通ると少時待て居る處へ立出ました近江典膳　典『之れは失禮、今日は折惡しく持病差發り其れがため意外の御無禮をいたした御容赦に預りたい』小太郎見ると赤城で逢つた近江典膳とは丸で別人、體格は大層大きいが色が黒くつて金壺眼で獅子ッ鼻で鰐口で、猪首で鳩胸るといふ、縮れ毛で黄色い爪が生へて居る、何處といつて取柄のない人物、天地月鼈の相違、小太郎

心中にハテ之れは大變な違ひだ、先の典膳は美い男だつた、美過る位であつたが此典膳は少し醜過ぎる、之れは此人物が異質の近江典膳で、先達て立會つたのが西國名代の龜井新十郎に相違ない、之れは龜井の弟子だらう、拙者も門人の仁科與四郎の名を假りに用ゐるが、新十郎も出鱈目に門人の近江典膳の名を以て立會つたものと見へる、併し此者も一軒の道場の主て見て、詰らない奴であれば直ぐに出懸けやうと考へまして　小『拙者は仁科與四郎と申す未熟者、一手御指南を願ひたい　典『其許は何流をお遣ひなさる　小『拙者は神陰流でござる　典『ハヽア左樣でござるか、エ、規則でござるに依つて一兩名門人を差出す　小『承知いたしてござる』玆で門人が出たが面倒臭いから小太郎片ッ端から叩倒して了ふ、固より對手になる者もなく、忽ちの間に三名の門人が打負ける、仕方がないから近江典膳支度をして　典『拜見いたす所天晴れなる御技倆感心いたす、今度は典膳がお對手仕る』と槍を執つて立出でる、小太郎向うへ廻つてピタリと付けて見るとイヤ何うも先達の赤城山の典膳から見れば百段も劣つた技倆、サテは愈々此奴弟子に相違ない、エ、面倒だに依つてサッサと叩き倒して早く出懸けやうと木劍を中段に構へて其れへ進んだ。

西洋料理　すき燒　おいしい京城第一との高評を博し居り候　南大門通　電話二五七一番　カフエータイガー

毛皮なめし並に仕立　鳥獸剝製調進　羽根布團製造修理　高毛御高價買入　鳥羽毛皮貿易商　制剝標本　京城本町二丁目　樽元商行　電話長二〇六五番　振替京城三四九九番

スグキク　井上博士ノ　ロート目藥　セイ々トウ

三月廿四日　九星　舊二月十二日　庚午　本命一白　北　平　先勝

▲一白　拙び損の事有り新事見合西方は吉福 ▲二黑　辻棲のあはぬ事有り新事手控へ ▲三碧　巧を要す口舌出詰印等を慎む ▲四緑　活動の日轉居旅行入門名弘の利を含み萬事吉 ▲五黄　萬事求職等試験を受る事有日新事手控へ ▲六白　大儲有日轉居行商入學等萬吉 ▲七赤　金銀求職新取引結婚等の事は吉一切のかけ事を禁ず ▲八白　心がはりを爲す大に愼ふべきの日也 ▲九紫　のべこべに來る事有日新事手控へ

演藝案内

壽館　京城本町　電話一〇五〇　三月二十三日午後五時開會　名手前田旭心師送別大會

[illegible]
本田君子師
納田〔?〕夫人（五段）
武田夫人
永井夫人
玉村旭指女史
石田旭瀧女史
角旭王氏
加藤旭節女史
龜川旭江師
宮岡旭貫師
本多旭映師
水波旭子師
富谷旭蓬師
坂井旭水師
松岡旭愛師
村旭汀師
前旭心師

有樂館　東京日活會社一手代理店　天活會社特約　活動寫眞常設館　電話（階上）五九七番（階下）二〇五番

○當る三月二十日より公開　ユニヴァーサル週報五十四號　○滑稽 [illegible]　○人情劇　孤兒の生涯　全五卷 [illegible]　○舊劇　繪本太功記　尼ヶ崎の段　三卷 [illegible]　○新派劇　木枯しの果　全四卷 [illegible]

稻荷座　本町五丁目　電話二〇二八　▲第二蝶々會一行（四日目）三月十九日より開演 [illegible]　▲新派悲劇　家庭の闇　三場　▲喜劇　[illegible]　二場　▲喜劇　なさぬ仲　三場

大正館　櫻井町三　電話八七三　日本活動寫眞株式會社直營 [illegible]　當る廿二日より大寫眞提供　○滑稽 [illegible]　○新派悲劇　ひな鳥　全三卷 [illegible]　○最終編　鐵の爪　十五、十六編 [illegible]　○舊劇　馬丁治良吉　全四卷 [illegible]

浪花館　明治町二丁目　電話二六〇番

▲當る三月二十一日より開演　○大阪娘義太夫竹本若千代一座　二日目語りもの（三月二十二日）
▲御祝儀
▲先代萩　御殿竹の間の段
▲八陣　八ッ目　政清本城の段
▲忠臣藏　六ッ目　勘平腹切の段
▲御所櫻　三段目　辨慶上使の段
▲三十三間堂　平太郎住家の段
▲菅原　四段目　寺子屋の段
▲帝國〔?〕日本四段目 [illegible]
[illegible]

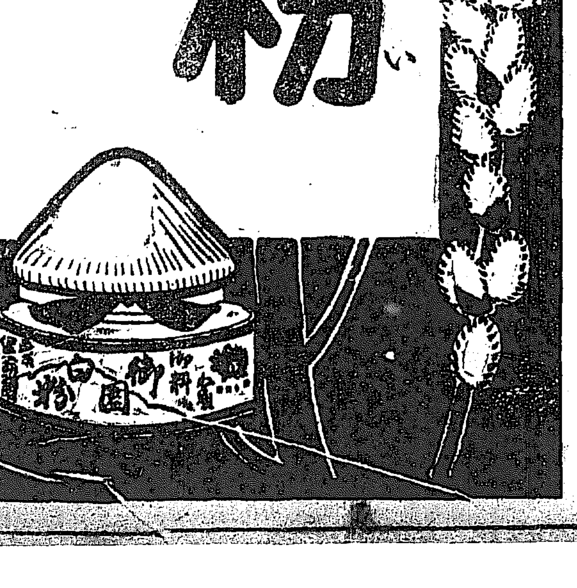
壽座　京城壽町　電話五七八番　世界的大魔術松旭齋天一一座出演　自轉車大曲乘　小奇術 [illegible] 井登場　大魔術 [illegible]　プログラム…… [illegible]　登場人員男女二十名出演ス

黄金館　電話二三六七　二三六六　大正活動寫眞株式會社京城谷山一手代理店　○三月二十二日より引續き特殊大寫眞公開 [illegible]　チヤプリンの爆彈投　全二卷 [illegible]　▲活劇　死の前　全三卷　▲新派喜劇 [illegible]　日蓮上人御一代記 [illegible]

東洋捕鯨株式會社特約販賣店　鯨問屋　香月商店　京城府明治町二丁目四八　振替口座京城四八四六番　◎特約店希望の方は申込あれ

內科　胃腸病　診察夜九時迄　京城本町一丁目　石川醫院　電話一二三七、一二九〇九番

通學の諸孃が　日燒を厭ふ頃ではなりぬ。洗面後のユーマー今こそ怠り給ふな



御園白粉

容易に御化粧崩れのせぬ　極く上品な御園濃化粧法

野山の面も春めいて、肌吹く風の快い陽春は、自然御出掛の折が多い事と存じます。散歩旅行、買物などに御出掛の節は容易に御化粧崩れのせぬ御園式の濃化粧をお勸め致します。化粧水御園四季の花にて皮膚を調へ、次に白粉のノリとノビを非常に良くし、御化粧崩れを防ぐ特効のある濃化粧專用の白粉下御園の薔の極く少量を頸から顏に万遍なく擦り込みましてから、襟こ頸には藥屋用の御園固煉白粉をお粧け遊ばすこ、襟足が際立つて美くしく見えますので、何んとも申分のない上品な御化粧築えが致します。

（御化粧崩れを至つて手輕に美しく直すには御園紙白粉が一番です。紙白粉は紙質が丈夫で香がよく僅か一枚の紙白粉で至つて容易く御化粧崩れを直す事が出來ますので、御出掛の節はお忘れなく懷中に御用意遊ばせ）

御料御園化粧品種目

御料御園白粉
濃化粧用御園固煉白粉
水白粉御園の月
粉白粉御園の花
打粉御園白粉子
御園中用紙白粉
濃厚化粧水御園四季の花
化粧水御園の露
濃化粧用白粉下御園の薔
淨肌化粧料御園クレーム
花御園香精
化粧香水御園の香橘
頭髮整御園香油
香髮御園齒磨
日燒止化粧料御園ルチゲン

(339)

御料御園化粧品本舖　伊東胡蝶園
御料御園化粧品發賣元　丸見屋商店

宮内省御用品本品の聲價は既に社會に定評あり種々の名稱を附したる類似商品多し本品の軸部にはSWANの英字刻印押捺せり

スワン萬年ペン

到る所の文具店に目下販賣中御入用の節は手製販賣店に乞御命令　最寄無代進呈　目録　大阪東區平野町二丁目　スワン大阪出張所

品質第一　誠實第一　實行第一

キッコーリウ　最上醬油　釀造元　仁川港　日本醬油株式會社　京城出張所　京城大平通二丁目電話二四五番

汽車　京釜線（南行）　同（北行）　京釜連絡　京義線（北行）　同（南行）　京仁線（仁川行）　同　京元線（北行）　同（南行）　兼二浦支線

[illegible]

京城日報 第五版 二十三日朝刊 (朝夕刊を併せて八頁)
發行兼編輯人 奧田直毅 印刷人 小川三之介 發行所 京城太平通一丁目 京城日報社

遊支偶錄

蘇峰生

(二) 烏合の衆

數をして最も有力ならしむるは、組織にあり、結合にあり、而して此點に就て、支那人は果して如何なる程度迄、其の能力を發揮し得たる乎。

組織、結合には、自から二個の作用あり、第一は强制的にして、第二は隨意的也。獨逸人は前者に於て、英人は後者に於て、各々其の特色を表現しつゝあり。未だ知らず支那人は、何れの分類に屬する乎。將た今日の所にては、何れの分類とも、見當附かざる乎。

多年の習慣とは云へ、支那人は個人萬能、團體不能也。固より支那人に於て、合同的機能なしと云ふ可らず。然も其の合同や、獨乙馬的にして、決して組織的にあらず。凡そ支那人程、獨乙馬根性の增長したるもの[illegible]一犬虛に吠へ、萬犬實を傳ふとは、支那の犬を形容するよりも、寧ろ支那人を形容す可き名言也。

例せば一人橋上に立て、欄干より見下す者あれば、須臾にして二人となり、三人となり、橋上人の山を築くに到る也。彼等自から何の爲たるを知らず、唯だ人を趁うて、人が集まる也。市に三虎を出すの諺も、支那人に取りて、其の意義、最も適切也。飛語、流言、訛傳、風說、何れも非常の勢力を逞しうて、支那を席捲し、時としては政府を顚覆し、國家を破滅せしむるに到ることあり。是れ皆な支那人の雷同性あるに出る也。

雷同性と組織的能力とは、必らずしも同一視す可きにあらず。支那人の合同は、組織的にあらずして、彼等の所謂る烏合の衆に過ぎず。されば之を訓練し、之を統制するには、更らに多大の努力を要す。蓋し組織の原は、規律に服從する遵法的精神にあり、合同の原は、公德心にあり。而して此の二者は、個人主義萬能の支那には、不幸にして缺乏せり。是れ衆ありて、大を做す能はざる所以也。

開戰後の哈爾賓貿易 (一)

本篇は哈爾賓に於て發刊せる滿洲日報(露文)紙上に掲載せる一記事に係り開戰以後に於ける同地方貿易狀態の推移を敍述せるものなるが參考となるべきを信じ茲に其の大要を譯出す

今次の歐洲戰亂は北滿產業の中心にして內外物貨の集散地たる哈爾賓貿易に顯著なる影響を及ぼせり其の影響の程度は戰時を通じて各相異なれども便宜上之を左の三期に大別して說述せんとす

第一期は一九一四年晚夏より一九一五年の央に至る哈爾賓金融界及び貿易界に於ける恐慌時代とす此の恐慌は一九一四年七月下旬に突發せる歐洲戰亂に基因し即ち一、露國商人の多くは戰爭開始と共に營業を廢止せんが爲商品の放資を行ひ物價を下落せしめたると二、各金融機關は貸出を緊縮したる結果露國商人は資金の融通に困み業務を縮少せること三、露獨國交斷絕により在哈獨逸輸入商及び代理業者は哈爾賓を撤退せる爲獨逸商品の輸入杜絕せること等の三原因に歸着するものなり戰前極東地方に於ける外國物貨は殆ど獨逸より輸入に係り獨逸は主として漢堡より哈爾賓に向け各種鐵類、鋼鐵、藥、鉛、錫、機械類、梁材、各種金屬製品、電氣用品及び同附屬品、管球、各種紙類、衣服、衣服用裝飾品、襯衣其の他下着類、文房具、藥品、染料、瀨戶引物、袋物、旅行用具、編物製品、婦人手工用材料、罐詰、食料品、卷煙草、靴類及び金物類等多種多樣の物貨を輸入し墺太利は靴類、帽子類其の他婦人用流行物及び裝飾品を供給せり而して是等の諸貨物は小包郵便によりる少數の高價品を除く外概ね海路獨逸船舶により一布度最低十一哥乃至最高五十四哥以內の低廉なる運賃にて大連若くは浦鹽經由主として大連より北滿市場に搬入せられ在哈獨逸輸入商等の手を經て廣く地方卸賣業者に配布せられたるものなるを以て獨逸商品の輸入杜絕は哈爾賓貿易業者にとりては一大打擊にして之に代るべき適當なる供給國を求むるの至難なる哈爾賓貿易不振の狀態を一九一五年中頃迄持續せしめたり

宋以後の繪畫 (三)

於京城俱樂部 今關天彭氏談

山水畫 (承前)

元初には有名なる趙子昂が出た。この人の畫は人物、鞍馬が多けれども、また山水をも畫き、しかもその山水は晉唐の古い所を學び、[illegible]描を用ひて潑墨を用ひぬ。常に君法で畫を畫き、飛白の法で石を畫いたのは有名な話である。子昂と同時に高克恭がある。その畫は宋初の李成、董源から變化し、更に米芾父子の畫風を髓いで別に手法を出した。同時に南宋院畫を祖とする青綠山水を善くした錢舜擧があるが、この人は花鳥畫の泰斗であるから、花鳥畫をお話する時に再說する必要がある。

元の山水畫は元末の四大家を以て代表とす、即ち黃子久、王叔明、倪雲林、吳仲圭である。黃子久は一峰、また大癡と號し、董源、巨然の畫より變化して一家を成し、その畫趣は逸邁を以て稱せられて居る。その畫く所大抵二種あつて、一は淺絳山水で、山頂の筆勢は雄壯を極めて居る。また一種は水墨で、皴紋が極めて少く、筆意が極めて簡古である。王叔明は別號を黃鶴山樵と曰ひ、趙子昂の外孫であるから、頗ろその風を得たところがある。大抵、董源と王維とを混和して、墨法の秀潤なる上、いかにも面白い畫き方がある。その緻密なものとなると、山水重なり合うて數十重に至り、また樹木も數十種を畫き、雲煙起り徑路連なり、山林の幽致を極盡して居る。人物もまた可なり善い。この人の畫は四家で一番だと云ふ人が多いのである。倪瓚は雲林と號し、董源から變化し、更らに米芾を參酌して蕭淡簡勁の趣に富み、元代逸品の第一人と稱せられる。吳仲圭は即ち梅花道人で、主として巨然を學び用筆が古勁である。要するに是れ等の四人は簡淡高大の趣味を筆法と墨法との間に寄せて、宋風を一變して元格を作り、明清南宗畫の魁をなしたものである。

さて明代となる。この時代は山水畫の盛行時代で、イロ〳〵の畫派が分出して居るから、これを區別するに困難なるが、大抵吳派、浙派、院畫の一派に分けてお話する。

元代より引續き、特に元季四大家の流を汲める明の諸大家は多く吳の人であるから吳派と云ふ。この派は明初から盛んであつたが、明の中葉に沈周(石田)が出でまた文徵明(衡山)が出るに及んで大に勃興した。嘉靖から萬曆以後の畫界は全くこの派の獨占場となつた。然らば沈石田はどんな畫き方をしたかと云ふと、繪畫を以て遊戲とする宗旨とする人であるから、拘泥するところがない。始めは王蒙、黃子久などを學んだが、後に高克恭から會得して、二米の風趣を何となく倪雲林と趣を同じうして居る。また文徵明は石田に學び、更に趙子昂、倪雲林、黃子久の長を兼ね、その上また南宋の李唐をも參酌し、得意の筆は巧緻であるが、しかも氣韻、神采は明代第一であるとの定評である。明末に於ける董其昌、陳繼儒はこの派の大成者で、一は董源、巨然の筆意を得て、蒼老秀逸の趣を極め、一はいかにも草書であるが、その草書の中に蒼老秀逸の趣がある。

因に云ふ、明末以來南畫、北畫とて八釜しく流派を區別して黨同伐異する傾向があるが、この區別は董其昌から始まつたと云ふを記憶ありたい。今左に其昌の畫禪室隨筆から南北畫に關する話論二則を拔て一覽に供する事とする。

文人之畫、自王右丞始、其後董源巨然李成范寬爲嫡子、李龍眠王晉卿米南宮及虎兒、皆從董巨得來、直至元四大家黃子久王叔明倪元鎭吳仲圭、皆其正傳、吾朝文沈則又遠接衣鉢、若馬夏及李唐劉松年、又是李大將軍之派、非吾曹易學也、禪家有南北二宗、唐時始分、畫之南北二宗、亦唐時分也、但其人非南北耳、北宗則李思訓父子著色山水、流傳而爲宋之趙幹趙伯駒伯驌、以至馬夏輩、南宗則王摩詰始用渲淡、一變鉤斫之法、其傳爲張璪荊關郭忠恕董巨米家父子、以至元之四大家、亦如六祖之後有馬駒雲門臨濟兒孫之盛、而北宗微矣、要之摩詰所謂雲峰石迹、迥出天機、筆意縱橫、參乎造化者、東坡贊吳道子王維畫壁、亦云、吾于維也無間然、知言哉、

吳派の中にも幾つかの別派がある。即ち顧正誼は元季の四大家に出入して華亭派を開き、趙左が董源と黃子久、倪雲林とを折衷して蘇松派を開いた。この蘇松派から沈士充の雲間派が出た。

西京 芝峰 佐藤重治
浮碧樓前半倚岡。舊都風色轉蒼涼。江廻大野朝南浦。山擁長城鎭北邙。庭冷擣衣千戶月。秋深鳴雁九天霜。漢家雄略今何在。不盡離離古樂浪。

聞西城內亂寄外相某氏 市村鏘太郎
芬芬中原逐鹿秋。可無簽弱[illegible]

次三島中洲翁近作韻 杉山令吉
[illegible]

破窓梅影 伊藤賢道
曉月樓窓白。殊[illegible]吐氣新。[illegible]指作草宗花。冷澹生涯似、橫斜形影親。箇中佳趣足、宛似對幽人。

九州視察團規定計畫

◎福岡市開催 九州沖繩物產共進會視察
◎久留米市開催 全國發明品博覽會見學

主旨

◈天の時地の利を得て日に月に倍進發展し行く新氣橫溢の新九州を視察研究旁せて福岡共進會久留米博覽會を見學す可く我社は視察團の擧を決行す

規定

◈團體は汎ねく全鮮に亙り智識階級の日鮮紳士を網羅し[illegible]

汽車汽船は二等、旅館は各地共第一流を撰定せり

行程

◈團體の歷訪地は視察=見學=遊覽の調節を圖り
下關◇門司◇大里◇八幡◇福岡◇太宰府◇久留米
熊本◇鹿島◇小倉◇中津◇耶馬溪◇別府◇大分等

會費

◈會費は ◇京仁團(京城仁川)八拾圓 ◇西鮮團(平壤鎭南浦)八拾五圓
◇湖南團(群山木浦)七拾五圓 ◇南鮮團(大邱釜山)七拾圓、應募諸氏は兩社經理部長藤村忠助及各地支局長宛申込あれ

注意

◈視察團主催に關しては紙上報道の外主旨=規定=計畫=日程=行程=福岡縣入圖=地方入團等に就き詳細なる印刷物あり希望の方には直に發送す

主催 京城日報社 每日申報社

鎊(かざり) 二十六

布施生譯

己は久しい間あれ位氣持のよい細工をした事は無かつた、拵らへてしまつていざ渡さうとなると、メリー樣は暗殺にお遭ひなされて、頸飾は其儘己の手に殘つたがあれら數ある己の細工の中でも二つと無い逸品でさんな貴婦人がお着けになつても恥しい事は無い、窓井樣なら假令あれを差上げても[illegible]さうと云ふやうな考は起るまい、あれを一つお導者の殺人仲間さ云ふ名で差上げて出羽の奴を狼狽させてやりたいんだが織備手前何とか工夫して巧く窓井樣にお届け申してくれないか。

不思議でございます、貴女樣のお名前を聞きますと私の心配は一時に消えまして急ち心が落着きました、母親は生きて居ります時分より貴女樣を依賴に致しまして良いにつけ惡いにつけ何度も〳〵貴女樣の所へお伺ひ申上げようと致しましたが何時も餘りの貧乏に氣は臆けまして折角の思ひも中途[illegible]御無沙汰を致しました上巴里へ參りましても一度のお訪ねさへ致しませぬ位、不義理に不義理を重ねて居りますが心の中で貴女樣を依賴に致します事は母親と同じでございます、今師匠から貴女樣の所へ使を賴まれますと私の心の中は一時に光がさしまして貴女樣なら安心して打ち明けられる、どんな厭な話でも貴女樣なら面倒なお顔もなさらずお聞取り下さいましやうし、廣いお智慧で私の身の振方もお考へ下されば師匠の惡念の拔ける方法もお授け下されようもの師匠に使を吩附かつたを幸ひ是非ともお目通りをして、お話しもし、お願ひもしよう、こう思ひ定めまして、私は仔細もなく師匠の賴みを引受けました、師匠はお宅の御樣子は自分の宅の事のやうに熟知つて居りまして細かく指圖をしてくれましたから私は定めの時刻に鎊を持つてお宅にお伺ひ致しました、折角お目に懸りたいと思ひました望は御承知のやうな次第で首尾よく失敗りましたがさてそれから心配なのは師匠の樣子でございます、師匠はあの鎊を差上げてから、二三日は酷く沈んで居りましたが二三日すると眼の色を變へて沈着なく家の內を步行廻り、『畜生〳〵鎊はやつぱりメリーの奴の身に着けさせて置きたかつた』と口走ります。

蠅の發生期迫る (發生前に使用するを以て理想的とす)
理想的蠅蚊蚤の驅除劑 ◉S T式固形石油乳劑 (除蟲菊加用)
定價半打入十五錢一打入二十八錢(別に棒型德用品あり)
◉本品の効力に就ては確固たる自信を有し內地は既に東京府を始め各府縣に使用せられ朝鮮は本年新たに京城其他の各地に使用せられんとする向尠からず、始めて試用せられんとする向にして多少共疑有之は內務省若くは警視廳へ御問合せありたし
一、本品の特長 蠅蚤蚊南京蟲の驅除に適し便所芥溜の惡臭を去り農作物園藝等の害蟲驅除に有効也
一、本品の効用 本品は溶解簡易にして石油は完全に水に混和し固形體なるを以て運搬に便利にして人體に危害なく又發火の危險更に無し
一、使用法 本品一個を熱湯一升に溶解すれば百倍液となりて殺蟲劑となり農作物用としては百倍乃至三百倍のものを使用す
朝鮮總發賣元 京城本町 熊平支店 電話長六二四番 振替京城二一三二五番

好機!好機!!
■內容說明付き特價圖書目錄御申越次第御送付可申上候■
創業二十五週年紀念 法律經濟書特價販賣
特價期限四月五日限
東京神田仲猿樂町 巖松堂書店 (電話本局二三五四・振替東京六五五六)

飛行機圖解 講義錄
▲內容▲設計製作操縱等精密製圖 ▲講義▲本會獨特解說圖解教授法 ▲講師▲官民斯道大家數十名執筆 ▲特典▲飛行學校入學外特典多々 會則呈送
東京京橋南八丁堀 大日本航空學會

日本少年 四月號
奉天附近の大會戰(大迫大將)
勇壯西班牙の闘牛(堀口公使)
▽山の唄…芳水 ▽はこの島… ▽大鷲を生捕る ▽宇治川渡り ▽先生子 思水
定價十五錢 實業之日本社

少女の友 四月號
高等女學校入學試驗問題及び解答
長篇歷史物語 東山噂の夜櫻
▽拾つた手紙 ▽櫻咲く國 ▽朝の風 ▽黑い雛 ▽春の野邊
實業之日本社

幼年の友 四月號
特別附錄 面白い玩具の寫し繪
おとぎ噺 これさるのメダル
▽最新變り繪 ▽深津川下り ▽秀吉一代記 ▽はだか學者 ▽文福茶釜
定價十二錢 東京京橋 實業之日本社

内田大使車中談

露國の現狀—勞農政府の財政

歸朝の途に在る内田大使を、京畿に迎ふ。大使は記者を引いて露國の近狀を語る

予は露都出發以來、既に一個月に近き日子を經過したるを以て最近の事情は之を詳かにせず、加之露都滯在中と雖も、哈爾賓の領事館等より發せる電報は多少の延著はありたれども、兎に角不著と成るが如きことは無かりしが、本國よりの電報は殆んど全く杜絶の狀態なりしに依り、本邦に於て問題となり居れる事件を以て直に露國の事情に結び著けて

◆的確なる結論

を得ることは困難なるのみならず、予は露國を引揚げ來りしとは云へ露國大使の現職に在る者なれば、自由に言議し能はざることもあり、其邊の事情は之をと諒せられたし。露獨の關係は周知せられたる處の如し前日講和條約も批准されたる樣なれば兩國家の講和は成立したるに相違無し而も勞農政府が同條約に對して飽迄忠實なるべきや或ひは又も葛藤を生ずるが如きことなかるべきや、遽かに斷じ易からず。併しながら何れにもせよ、露國の現狀にては獨逸の意思に反して行動することは不可能と見るを中れりとせん。唯レニン氏等は其の奉ずる政治上社會上の主義を獨逸に宣傳し、獨逸の軍國主義を内部より覆へさしめんとの方策を立て居れりと聞きしが、果して幾何の效果を收め得べきや想像し能はざるなり。露獨兩國の關係は右の通りとして、露國の勞農政府は如何に内政を燮理せりやといふに、彼等は

◆其理想を現實

にせんが爲めに猛進しつゝあり、而して露國に於ける唯一若くは最大の勢力なれば、理想を以て直に實際に布かんことは、幾分の支吾する處あるを免かれざるべしと雖も、頗るきびしき手段方法を用ひて或程度迄は之れを現實化しつゝあり、例へば其財政の如き銀行會社より資産階級に屬する個人の財産迄も沒收して、以て政費に充てつゝある爲め、所謂其の日暮しにて何等財政策を有せざるやに見ゆれども、レニン氏は立派なる經濟學者にして、其著術の如きも斯界に於て相當其價値を認められつゝある位なれば、全然財政策を有せざるものとは思はれず、殊に注意すべきは、ケレンスキー政府時代迄は盛んに紙幣を發行したれども、レニン氏取つて代りし以來未だ一回も紙幣を發行したることなし、西伯利亞北滿等に於て一時極度に下落したる留紙幣の近時大に回復したるとは其原因を異にすべきも露本國にても大に紙幣の相場が上り、尤も軍隊は解散し、軍艦は繋留せる爲め政費も亦大に減じたるより、紙幣發行の必要無く期せずして今日の如き

◆意外の好結果

を僥倖せしものなるやも知れず、而かも經濟學者たるレニン氏が此實驗を遂觀するの理なし、勞農政府の將來に於ける最大難問たる財政は或は鞏固なる基礎を築成し得るやも計られず、既に最も有力なる團體にして、且つ財政に對しても然るべき方策を有せりとも見ゆる勞農會を何故に聯合國は承認せざるやといふに之を一言にして悉さば勞農政府の施措、聯合國の利益と相反すればなり、聯合國の承認を與ふるの時機は宛く國内の安寧秩序を維持するに堪へ同時に聯合國に對して圓滿なる國交を進むるの政府ならざるべからず、其時機の何時到來すべきやは予之れを知らず、茲に最も一般の注意を促がしたきは聯合國が勞農政府なるものを承認せざるの故に國交斷絶の狀態に在るものとの誤解せざらんこと是なり、予は露都に在るの危險なる爲め歸朝することに決したれども、日本大使館を引揚げたるにあらず、我丸毛參事官は國旗と共にヴォログダに留まれるは即ち其證左なり、然らば何故に聯合國は勞農政府を援助し若くは強要し彼をして聯合國の承認を受けしむべき政府を樹立せしめざるやの質問に對しては、予は之が說明を爲す能はざるを諒とせよ、次に勞農政府の將來は如何、現下の情勢を以てすれば漸次

◆其地盤を堅固

にし行くならんかと思はる、併し「不測なる經緯」は由來露國の歷史に於て珍とするに足らず、何時如何なる大勢力の出現して勞農會を壓倒し去るやも知れず、或は又前にも述べし通り勞農會が立派に國内を統一し得るやも知れず、要するに現はれたる事實即ち事實にして、而して又時日の問題たるのみ世間カイゼルの意思を忖度して、或機會に於て露の廢帝を復辟せしめ、而して獨の保護國と爲すの意圖を有すと爲すものあれども、予は其眞否を知らず、曾てブレストリトウスクに於て講和談判中、カイゼルが獨の某將軍に向ひ、廢帝の消息を聞かずやと問はれしことありと傳へられしが、其等の事はかゝる推察の因を爲せしものならんか、さは云へ眞にカイゼルの胸中を云ひ中てたるものなるやも計られず、其の代りにレニン氏等の胸中を云ひ中てたるものなるやも計られず、其の代りにレニン氏等の胸中、小露西亞、波蘭、芬蘭等の獨立の勢力又は暴力に依りて獨立したる幾多の國家を糾合して終には聯邦を組織するの秘策を藏せりとも推測し得べき理由なきにもあらざるなり

内田大使

二十二日午後十一時南大門驛にて

獨逸東漸と極東

▲獨軍近く露都到著 獨管理委員會露都に設置か

デーリークロニクル新聞露都通信員所報に曰く獨軍は二三日中にペトログラードに到著す可しと豫期せらる獨逸の管理委員會は露都に設置さる可しと報せらる(倫敦電報)

▲對獨軍部隊組織

社會革命派は政府より分離し獨軍に對する部隊を組織せん爲め南方に向ひつゝあり(露都電報)

▲邊境問題協約了

露國公報に曰く「西伯利に於ける勞兵會當局者は邊境問題に關し支那政府と協約を締結せり(露都電報)

支那の形勢

▲ブ市邦人死傷數

ブラゴエチエンスク事件に於ける邦人の死傷は三月九日死者三名、負傷者七名、十二日死者八名、負傷四名、監禁八名にして合計死者十一名、負傷者十一名、監禁八名也(哈爾賓特電)

▲浦鹽靜穩

浦鹽の情勢は比較的平穩にして最近過激派は沈默の情態に在り又過日ブラゴエチエンスクの戰鬪にて死傷せる我邦人に對し過激派は頗る同情し同派首領が態々入院せる邦人負傷者を見舞ひ好意を表し居たり(哈爾賓特電)

▲林公使馮總統訪問

林公使は十九日午後二時半馮總統を訪ひ日本は東亞の平和維持に誠意を有す 天皇陛下は支那の内爭が一日も速かに平定せんことを軫念せらるゝ旨を述べ(又大總統に對し對外意見を問ひ四時半辭去せるが其際馮總統は公使の致せる支那の内爭中止の勸告及び對外方針の質問に對し先づ日本皇室の御懇情に對し感謝したる後北軍の岳州回復を期待し内亂を平定し南北を統一すべしと豫定の方針を詳細に述べ更に東北の防備は吉林黑龍江の督軍をして出兵せしめ居れり 參戰問題は出兵數四萬の豫定にて募兵に著手し軍費を調達せしめ居れり 奉天軍の軍器掠奪に至りては既に意思疏通せるを以て此上紛擾は無かるべしと述べたりと(北京特電)

▲段内閣組織要求

十九日重慶の曹錕氏を筆頭とし西南各省を除く十六省督軍特別區域巡閱使等二十餘名連署し段内閣成立要求の電報を政府に致せり(北京特電)

▲長沙攻略と前進

馮總統は錢軍司令の強請と主戰派の要求に依り十九日錢軍に長沙攻略の爲め前進を命じたり(北京特電)

▲我雇船舶の抑留

十五日北軍は宜昌附近の南軍に對し強襲を行ひ南軍は全部上流地方に敗退せり荊門の北軍一旅は當陽に出たるに依り宜昌北方の南軍は當陽を引き揚げたるを以て同地は一時小康を得たり黎天才氏は歸州に軍器局を設置し内外貨物に對し五倍の釐金を徵收し穀物類は悉く之れを徵發し居れり目下邦商の雇船の抑留せらるゝもの十二隻この總貨は約二萬兩内外にて目本領事よりは既に抗議を提出したる由なり(漢口特電)

◎マリ種族の暴戻

隊によりて不穩の態度にありたるヴアルチスタン(印度と波斯との間に介在し阿富汗斯坦の南に位す)内のマリ種族は最近に至り英領印度政府の制令に服せず益々暴戻を逞しくし電線を切斷し汽車に發砲し其他同族領内及び其附近の官有財産を破壞し且部隊を編成しグン、サン及びホルトムンローの英國守備隊を襲ふ等の暴擧に出で其都度擊退されたるが依然として印度政府に對し鬪爭的態度を改めず英國飛行隊は同種族に向ひ二回の飛行攻擊を行ひ猶ケトランス族も加擔せる形跡あり([illegible]電報)

第四十回帝國議會(東京特電)

貴族院(廿二日)

▲本會議

二十二日午前十時開議、諸般の報告あり日程に入る

軍事工業動員法案 大島陸相提案理由を說明し

▼江木千之氏 此重大なる案を會期切迫の今日に提出せられたる政府の意は會期延長或は繼續委員を設置する考ありや

▼寺内首相 會期延長に就きては其考へ無し

▼江木氏 政府は衆議院の修正を是認むるや

▼大島陸相 下院の修正の主なるものは工業動員令と徵發令とを全然區別せるものにて政府の意志と反するものに非ず

▼江木氏 一朝有事の日勞働者は皆出征し工場には女子のみ殘ること〻なる可きは歐洲戰役の實況に鑑み推測に難からず其際本動員法を實施するも實效無きに非ずや

▼大島陸相 其邊に就きては平時より注意し女子の體育にも留意する事となる可し

猶山脇玄氏と仲小路農相、大島陸相等の間に質問應答あり十五名の特別委員に附託

附託 大正五年度豫備金支出の件 大正五年度豫備金外に於て豫算超過及び豫算外支出の件 大正五年度特別會計豫備金支出の件 大正五年度特別會計豫備金外に於て豫算超過及び豫算外支出の件 大正五年度大正三年度臨時事件豫備費支出の件 大正五年度大正三年度臨時事件豫算外支出の件 大正五年度帝國鐵道積立金支出の件 大正五年度帝國鐵道積立金外に於て豫算超過支出の件

右勝田藏相の說明ありて委員附託

爆發物取締罰則中改正法律案 委員長松平頼壽伯委員會の經過報告可決確定、零時十五分散會

◎阪谷男東京發

支那財政顧問阪谷芳郞男は二十二日午前八時半東京驛發途中京都一泊二十四日下關より朝鮮を經由し二十八日北京に入る豫定也(東京特電)

◎内田大使通過

内田大使、與田書記官以下大使館員一行は二十二日夜南大門驛通過東上せるが龍山驛には軍司令官代理山本參謀、南大門驛には宇佐美内務部長官、久水外事課長、齋藤副官、平井專賣課長、上田視學官、股野鮮銀理事其他多數官民の送迎ありたり因に大使の搭乘せる特急列車は二時間餘を遲延し居れば或は二十三日朝の關釜連絡船に聯絡する能はざるやも知れず

◎檢閱視察將校入京

羅南步兵七十三聯隊附步兵少佐望月信政同中尉若松健三、咸興步兵七十四聯隊附步兵少佐鈴木清藏同大尉小峰俊雄、平壤步兵七十七聯隊附步兵少佐皆我源雄同二等軍醫天野利隆の諸氏は孰れも龍山部隊第一期檢閱見學の爲め二十一日入京せり

大阪財界便り

▲石炭産出豫想高 價格[illegible]二千六百萬噸に過ぎざりしなり而して本年度の出炭豫想高は二千八百萬噸を豫想し居れるものあるも[illegible]萬噸、山口千百萬噸、佐賀二千百萬噸、北海道三千六百萬噸、福島二千萬噸、茨城六百萬噸其他五十[illegible]

▲護謨益々低落 護謨原料は入電毎に軟弱を報じ叉産地低落を傳へたる爲め市況益々沈衰して[illegible]るを常とするを以て先高を見越して邪々商談あり此邊を底入れとして漸次反撥するならんかと[illegible]

[illegible]たるが毎年英米獨等より年額一千萬圓の輸入を仰ぎつゝありたるも開戰後獨逸の輸入全然杜絶し只僅に[illegible]るは稍注目に價すべきものなりと云ふべし

▲柳行李品薄 柳行李原料[illegible]の他に轉ずるもの多く製品は近年になき減産なるが昨今需要期に入れるより注文入込める爲め一割方[illegible]への輸出殆んど杜絶したる爲め手持品豊富にして工賃の昂騰に拘らず保合ひ居れり[illegible]藥類、魚類は一割弱の上騰を見たるが印度方面輸出も兎角行はれ居るで米國よりの輸入減退したる[illegible]

一品入札廣告

山東省某富豪の出物
天下一品 支那製十二枚物 屏風 壹基
中央の文章は古文に有名なる藤王閣序文より本文迄文字數約七百六十七全部青磁製
入札期日 三月廿三日下見 三月廿四日午後四時開札
場所 本町貳丁目 京城競賣株式會社
荷主青島 林仲三郎

少女畫報

口繪 ▽花吹雪 原色版 森田久 ▽雲雀啼く野 オフセツト版 小林永二郎
(譜報) 回さくら…回春の海邊回一日の消遊回日本一の鐵塔回宇都宮高等女學校回さしき草花回珍らしき植物回少女の髮形回野菜市と米の安賣回製作品と餘興
寫眞小說 ▽汐干の月 かげ
◎◎動物の藝當…石川博士 土筆の奇談…竹島教諭
◎◎春待ち日記…倉橋教授 女の淺智慧…和田古江
□花屋にて…前田教授 □花早辨當…相原講師 □文光線の話 □手提袋編方 さみ子 □少女歌語り 水穂 □はるさめ… 文子
□私の諍い事 □緋桃の花…(吉屋信子) □黑髮姫 (青山雪夫) □少女講演會の記 □光りの子 □女學校評判記
◎◎記者の失敗…瀬戸蒼煙 母なき家庭…美津子
◎◎少女小說 白菊…渡邊霞亭 少女小說 蝶子の父…上司小劍
四月號 ▲定價 拾八錢(郵税壹錢) ▲半年壹圓八錢 ▲壹年貳圓拾錢
少女新聞 見本進呈
東京京橋區疊町一 振替四千九百番 東京社

朝鮮勸農株式會社
肥料 農具 種苗
時は今
京城
販賣部 電話四〇三番
本社 電話三六八番
振替口座京城三七八番
營業案内 御申越次第送呈可仕候

資本金拾萬圓
金銀交換外國貨幣先物取引及有價證券賣買並に其仲立業
右不拘多少御用命願上候
長春錢鈔株式會社
電話 七六一 二五九番 四一

物品入札拂下
石油發動機船惠安丸(四噸四壹馬力附屬品共) 壹艘
復式小割竪鋸機械(解體品ニシテ附屬品附) 壹臺
古丸鋸(數種混合) 百拾參枚
古金(鑄鐵、鍛鐵、眞鍮) 約壹千貫
空罐及空箱(機械油) 約壹千五百貫
古金(鑄鐵) 約貳百五拾貫
右賣却ス入札ハ來ル四月六日午前十一時トス詳細ハ三月二十三日以降ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ
大正七年三月二十三日
朝鮮總督府營林廠

看護婦生募集
希望ノモノハ當院ニ問合ハセアレ
朝鮮總督府指定 龍山鐵道病院内 看護婦養成所

ポンプ セントル、ヒユゲル 口徑拾二吋 壹臺 ベンドフートバルブ共 鐵管貳拾五尺
右割安賣却 來談願上候
器械材料商 京城南大門通五丁目 中村幸商店 電話二二五番

苗木販賣
山林用苗、果樹苗、各種ニセアカシヤ、庭木、桐、各種澤山あり 盆栽、草花種子は特價を以て袋賣仕候 其他庭園造營請負
仁川柳町驛前 華王園 北垣林之介

質 (大口歡迎)
黄金町長橋町入口 電話一九一六番 田村質店 商品擔保便利取扱

◎軍隊鐵道 拂下品販賣
▲被服、袴下、手袋、靴下類一切
▲弊店特製品實用向紺セル春廣三揃並に詰襟、紺ヘル及紋改正半ズボンスコツチ詰襟折襟洋服其他新調品特に勉强御相談に可應候
▲新古男女御衣裳多數取揃有之候條不拘多少御注文奉願上候
中古品洋服類一切
諸官衙拂下品和服洋服商 龍山元町二丁目 奥市 金子商店 電話長一〇五番 振替京城三八二

最新刊
德川慶喜公傳 澁澤榮一
向陵より社會へ 中村郁太郎
[illegible] 理想の住宅
以男の表裏 無名隱士
戰後の教育
革命の巷より クロパトキン
獨乙經濟的膨脹策
獨逸の肉彈
肉彈(縮刷) 櫻井大尉
小生の手紙
商法釋義
新實驗化學
經濟哲學の諸問題 左右田
航艇聞說
カチ〜山と花咲爺
テニスの手引
大阪屋號書店

[illegible]ける豫想は二千七百萬噸なりしが各炭礦に於ける坑夫の不良よりして出炭意の如くならず實産出高は百十萬噸位に過ぎざるべく消息通間に於て觀測されつゝあるが其豫想は長崎千四百萬噸、福岡千五百[illegible]二千六百七十一萬噸に達すべければ昨年度同樣の推數あるものと見て大過なかるべし

[illegible]たるが採算上より見るも此邊が値と云ふべく而も例年三四月は[illegible]地も低下し五月頃より順次恢復す[illegible]内外にして其八割を内地に於て使用し二割を支那南洋方面に輸出し[illegible]圓以上に上り製産額過剩の傾きを[illegible]し衰退の兆候及見ゆるに至りたる勞働賃金の昂騰せる爲め[illegible]植付を奬勵し居れる爲め逐年産額[illegible]増加し居れるに拘らず戰亂の爲め行李職工たり竹行李は沖賣の關係[illegible]して産地に於て買占めを爲したる[illegible]一躍五割の奔騰を告げ[illegible]力の昂騰に緊張し上押し[illegible]の低落したるにも拘らず燃料原料の騰貴甚だしきため昨年に比し[illegible]値上げを見るべく夏季に向ふと共に先高を見越し居れり（大阪支局）

奥山書記官夫人

●捕虜になる覺悟で

◆◆最終に露都を出發するまで　奥山書記官夫人の談

露都より歸れる

露都在留の日本婦人は昨年九月頃の第一回引揚の際と高柳少將一行の所謂避難民列車で皆歸りましたが妾は例へ捕虜になりましても最後まで踏止まらうと決心致して

▽大使一行に　加はつて最後に露都を出發したのであります只今殘てゐる日本婦人は露西亞人の妻になつてゐる人と下女との二人のやうに記憶して居りますが露西亞の混亂の度が加はつて行くに隨つて隨分悲慘な目に遭ふ事だらうと思はれます露都生活で御座いますか、それは甚うございましたよ馬鈴薯は無くなる肉は一週間に一人前一斤パンは一人一日分四半斤しか買ふ事が出來ません。それも

▽藁の入つて　ゐるパンですから下女などは身體を傷めてそれは〳〵見る眼も哀れな有樣でした只大使館員には外務省から格別が參りますから其中に親戚の人々が米を五升砂糖を五斤と言ふ風に送つて呉れましたので幾分物の缺乏を補ふ事が出來ました露西亞人は始め革命が成功してケレンスキー政府が現はれると

▽秩序が紊亂　して生命財産を何時失ふか解らないと言ふ不安を抱いて勞働階級の味方である新政府の出現を反つて呪つて居りましたがレニン政府になると益々激しくなつたので此れではケレンスキー政府の方が宜かつたと既往を回顧して現在の露國を早く秩序ある昔に返したいと冀望致して居ります、まあ慘たらしいぢやありませんか嬰兒に與へる母乳が

▽營養不良の　ために出ない牛乳も買ふ事が出來ぬその爲めに乳呑兒は死ぬ病人は殖る殊に寒中などパンを買ふために出掛けたものが凍えて死ぬなどさながらに餓鬼道の有樣でございます、下層民は右の通り中産階級も服裝でも宜くして外出すると勞兵のために掠奪されたり之れに抵抗すると慘殺されたりそれは〳〵

▽殘忍なる迫害を蒙つて

居ります新聞など餘り書かない樣樣でありますがそれでも毎日四五十名は殺戮されたもの、名前を掲げて居ります恁んな有樣で露都の眞中で白晝強盜殺人がある小銃の音がするなどと言ふ騷ぎにも拘らず無警察でございますから

▽政府の手で　何等取締る事も出來ません、彼の觀劇好きの國民が『今日は冒險的に芝居見物をしやうか』とか『萬難を冒して劇場に行つて來た』などと申して居る程であります是れで一般を推察する事ができませう今になつて例へ專制でも我等の生命と財産を保護して呉れた

▽元の政府が　戀しいと思つてゐるものは恐らく兒兼無殘な勞兵を除いて全露民の悲痛な事ましい聲でございませう露都の婦人の職業は重に電車の車掌、交換手店員等でありますが一體に職業に從事してゐる婦人は無愛憎で交換手の横柄さと店員の小理窟屋にはほと〳〵飽きましたが併し妾共の交際して居りました

▽智識階級の　婦人方は非常に優しい方ばかりで米國あたりの婦人とは宛然樣子が違つて居ります何んとなく東洋の婦人に似て居る處が多いやうに思はれますそれからあの有名な婦人兵ですが恰度妾が露都に參りました頃は酷暑の候でありましたにも拘らず斬髮して眞黑けに

▽日に焦けて　調練して居りました其頃は戰線にあると否とを問はず軍人は戰に倦んで市中をぶら〳〵醉ひ歩いたり惡い事をしたり其の士氣の廢頽して居た事は言語に絕して居た時分の事でございますから婦人兵の雄々しい調練振りを見ますと實際他事ながら涙が溢れました

京龍情死史（十一）

呪れた運命

蛇の樣な男に附纏れた女の半生　慘劇に哀れを添ふる笛の音

利一とお文が夫婦になつたのは三年前であつたが醉漢で悪黨の彼は夫婦と言ふ首枷でお文をお茶屋に賣飛ばしては前借金を絞り上げて居たお文は乳呑兒の敏雄を抱きながら呪はれた運命の下に柔順に歩んで來た、或時は暗い

◆◆軒燈　の影で我子と共に死なうとまでしたが敏雄の仇氣ない顔を見て可憐しさ虐らしさに思ひ止つた事もあつたそれでゐて三日に上ず通うて來る利一に強請れて財布を出さねばならなかつた、醉はした上で打擲かれねばならなかつた、若い女の生命は、狼の餌となつてだん〳〵亡びて行く、

◆◆腐爛　して行く『エ、まゝになれ』とお文が自分を抛出した時は既に男のために五度も六度も仕替られ借金が山程積つた時であつた、三月ももう今日ぎり來月の中旬は牛耳洞の櫻が咲く、柳が芽が出た、南山では赤い前垂の女が黄色い聲で客を呼んでゐる、たゞ人の心は春に躍つてゐるがお文は利一の事で女將から睨かされて穴の中へ入りたい程氣が沈んで了つた、其頃は永樂町の清樂に仕替へて居たが矢張利一は足繁く通つて來てお文[illegible]が尠いと耿々を捏ては亂暴を働くため女將は飛んだ女が舞込んだと清樂の人氣が落るのを甚く氣に採んで居た、お文も申譯ないと泣かぬ日とては無かつた、今日も利一が二度も來たあゝ什うしようと

◆◆思案　に餘つてゐる間もなく只ならぬ血相した利一が三度目は佛も我を通させると言ひ乍ら女將を突倒してお文の部屋に入つて來た『お前さん何だつて亂暴な事をするんだね』『なにッ今日は利一も覺悟をして來た命は貰つた觀念しろッ』と突然白刃揮つてお文の咽喉に短刀の柄も貫れと抉り込んだ、血煙浴びて倒れるお文の

◆◆悲鳴　を聞いて『此で胸の中が收まつた、お文を殺した上は文句は言はね、俺も男だ怨が晴りや未練がねえ、追付後を追うて行くから三途の川で待つて居ろよ』利一は短刀逆手に我が咽喉に突立てた、家人がお文の部屋に飛込んだ時は利一の頸には細紐が捲きつけてあつた、腹も一文字に掻割かれてゐた六疊の間には血潮が流れて苦悶の聲は兇惡な男の五臟六腑から物凄く斷續として聞えた其の慘劇の眞只中に敏雄はニコ〳〵

◆◆微笑　ながら母の傍で笛を吹いてゐた、ピイー、ピイー、ピイー其の音は人々の腸を斷つやうに響いた

●浦鹽は目下頗る靜穩也

◇穩和派は日本出兵を歡迎す◇　西村特派員廿日浦鹽發電

帝國領事館はアレツスカヤ街に在り菊地總領事は曰く『浦鹽は目下の處頗る靜穩なり日本内地の諸新聞には今にも流血の慘を見るが如く記載しあるも我等の如く浦鹽にあつて

◆浦鹽の實際　を知るものは寧ろ意外とする處なり惟ふに是等無責任なる歸客の談を針小棒大に吹聽する爲めなる可し、在留邦人中多少引揚げたるものあるは事實なれど是れとて日本にての噂餘りに大きく爲めに親兄弟等より心配して

◆引揚を促し　來れる結果なり十九日には當地主なる人々の醵金に依り露日協會の發會を見たるが列席者三百餘名に達し頗る盛會なりき右は日露親善上誠に喜ぶ可き事にして予も亦微力を盡す覺悟なり是れと共に慶賀に堪へざるは在留邦人が常に其腦底に

◆國家的觀念　を藏せる事にして是れが爲め事實に於て日露親善に貢する處尠からず假令事端ありとしても大いに幸と爲居れり當地には元來穩和派に屬するもの多く過激派は少數なるも實權は過激派にあり、穩和派は勢力なき爲め如何ともする能はざる狀態にあり

◆日本の出兵　に就ては當地露人種々樣々の觀測を下し居るが穩和派は大體に於て出兵を歡迎し獨逸の勢力を驅逐せん事を希望し居れるもの、如し、時局は今後如何に進展するか今俄に逆睹す可らずと雖も要するに落著く處迄落著かざれば當分現狀を維持し容易に秩序を回復せざる可し

◆天井裏から頭骨

▽正體見たり枯尾花　京城電氣株式會社の電燈取附係の高島某が二十日三阪通りの新兵營附近の用某方に電燈引込みの工事の爲め同家の天井裏に上り薄暗い蜘蛛の巣を拂ひ除りながら手探り足探りで這ひ廻つて居ると怪しい物が手に觸れた氣味惡るながら兩手で撫べて見れば所々に穴の穿いてゐる人頭大のもの其の手觸りから思つて正しく人の頭骨らしいそれがもう肉は腐れ果ちて骨ばかりのもの穴のあいてゐるのは眼孔、鼻孔、口孔、エライものを發見したと今更顫ひ慄しながら這ふやうにか斯うにか電燈の取附けだけ濟まして青くなつて逃げるやうに飛んで歸つた、さて警察署に届けようかとも思つたがマサカ殺人事件のやうなことでもなつて係り合ひになつては一大事と密かに保長に其の旨を話した夫れは一大事と翌日保長が大將となり正體を見屆けようと決死の勇ある壯士を數人同道して件の化物探險を敢行すべく恐る〳〵現場に行つて件の魔物を明るみに持ち出して見れば之は骨頭と思ひきや古い大きな蜂の巣であつたとは正體見たり枯尾花より以上の珍談奇談である

●各務原にて　飛行演習

機關銃の實彈射擊をなす

陸軍氣球研究會は廿二日より三十一日迄十日間岐阜縣各務原に於て新式飛行機の試驗飛行を爲し特に廿八九日は飛行機上に於ける機關銃の實彈射擊を爲す（岐阜電報）

●電氣博開會

▽不忍池畔二十日より

東京上野公園不忍池畔の電氣博覽會は豫定の如く二十日午前九時半開會式を擧行せり式場は餘興場を以て當て君が代の奏樂終れば會長小松謙次郎氏式辭を朗讀し、次に末松子爵の告辭、寺内首相以下の祝辭あり、末松總裁各館の電氣裝置一齊を一壓すれば各館に活動を開始し參列者は午餐の饗應を受け散會せり因に來賓は各大臣以下八百名の多數にて盛況を極め午後一時より一般入場を許せり（東京電話）

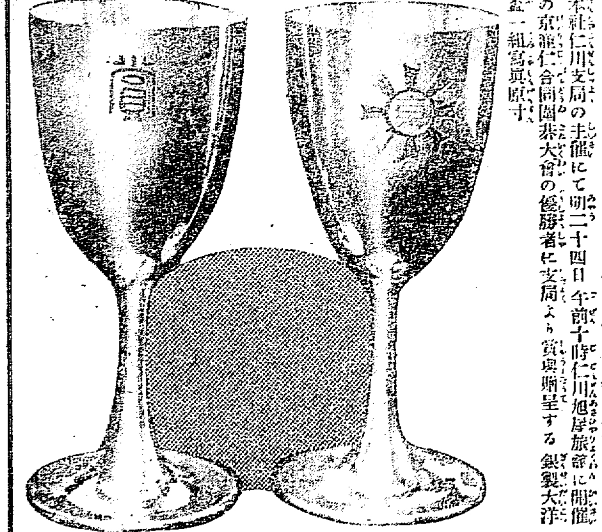
●鮮婦人の轢死

朝鮮ホテル自動車　被害者身元不明

二十日午後八時四十分頃京城朝鮮ホテルの第四十五號自動車に東京自動車學校得業士山梨縣生れの淺川淸（二七）が助手原田誠藏と共に乘組み南大門驛に向け長谷川町より朝鮮銀行角を曲らんとする際折柄前方より一名の朝鮮婦人來合はせ將に衝突せんとするより自動車を最初左方にこれを避けしに左方に來り此度は右に避くるに又右に迷ひ來るにぞ衝も方向を廻轉せんとせし刹那遂ひに婦人に衝突して轢き倒すに至り依つて件の婦人を其の自動車にて南大門通りの若槻醫院に運れ行き應急手當を加へ取調べしに左乳の下七枚目の肋骨を骨折し居り遂に午後九時二十八分絕命せり急報に接し本町警察署より係官出張し現場を檢證の上死體を解剖に附したるに肝臓は粉碎して其のあたりの靜脈に損大の破裂を來し居り夫れより出血して絕命したることを確めたり死婦人は身元不明服裝は普通にて新らしき草履を穿ち居り年齡五十歲位紫の洋傘一本と一圓紙幣一枚十錢と五十錢の銀貨各一枚を入れたる財布を所持し居るのみにて更に手掛りなく何所の者とも判らず屍體は一先づ京城府に引渡し運轉手は引續き業務上の過失致死と[illegible]

◆京龍仁圍碁大會優勝賞銀盃

本社仁川支局の主催にて明二十四日午前十時仁川旭屋旅館に開催の京龍仁合同圍碁大會の優勝者に支局より贈呈する銀製大洋盃一組寫眞原寸



京城高等女學校　優等卒業生

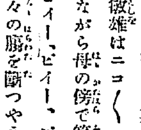
兒島幸子孃（上）　石橋清野孃（右）　山縣まり子孃（左）

▲鐵の爪終編

大正館にては二十二日より全部新替へと共に[illegible]前編を見せたる例の活劇鐵の爪は[illegible]十六編は[illegible]今回を以て終りとなるべきが十五編死の[illegible][illegible]べく[illegible]マチンレー及[illegible]シヤリーは如何になるべきか、これ等の疑點は著しく觀客の[illegible]新派悲劇[illegible]

▲日蓮記の試映

黃金館では二十二日から全部新替と共に[illegible]日蓮上人一代記で二十二日午後開館に於て試寫をしたのを觀る[illegible]



◎河井氏控訴

去る十九日大邱地方法院に於て懲役一年の判決を受けたる朝鮮民報社長河井朝雄氏は之に服せず大邱覆審法院に控訴の手續を爲せり

◎獨探嫌疑者　取調べらる

中尾秀雄なる者獨探の嫌疑を以て昨二十一日東京地方裁判所檢事局に召喚され取調べられたり尚彼は嘗て駐露日本大使館に書記生として而も本野大使に愛撫されし者也（東京特電）

春寒の折り時も離すことのならぬ

三ツ矢人參ポートワイン

を召上れ　朝夕の一杯は身体を暖めて血液の循環を助け活動を捷うす

三ツ矢キナ鐵葡萄酒發賣元　大阪新町　越後屋商店

戰爭に飛行機　旅行に寫眞器

寫眞器は淺沼

東京日本橋本町二丁目　淺沼本店
大阪市順慶町四丁目　淺沼支店
京都市寺町通佛光寺　淺沼出張所

北海材荷着案内

一鹽地、栓、檜、櫻、桂、朽、

一栓板機械挽　厚二分五厘以上　巾三尺迄

和洋家具材　クロ加用材　床廻用材

京城黃金町一丁目　本明雜木店　電話三二七五番

飲むだけで丈夫に元氣が付く

ヘモグロビン

血液の主成分なる本品が身體及神經衰弱に絕大なる效果あるは世既に定評あり虛弱者は勿論健康者も速に用ひよ元氣を旺盛にし體力を增進す

各地藥種化粧品店に有ります　說明書は御申越次第進呈す

代價　エキス製一個金一圓卅錢　菓子製小金一圓卅錢　大金二圓卅五錢

發賣元　東京日本橋矢の倉町　ミヤコ大塚琢造　振替東京三七〇二五　電話本局四六三〇

醫學博士[illegible]發見　僞物あり商標に御注意

各種織機

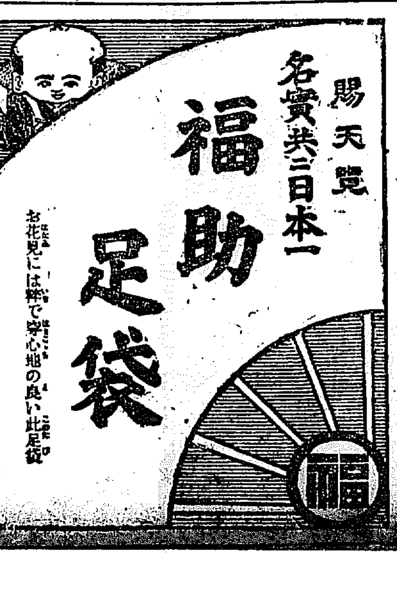
足踏織機　足踏管卷機
足踏タオル織機　足踏繰返機
絹用綿用手織機　整經機

織機附屬品

竹筬　金筬　杼　綜絖
木管　管卷車　糸枠　座繰

其他織物用機械附屬品一切

京城明治町一丁目　機織具商　製紙用品　高尾商店　電話二五三九番　振替京城五〇六〇番



天覽賜　名實共に日本一

福助足袋

お花見には粹で穿心地の良い此足袋

京城電氣株式會社　瓦斯コークス

京城南大門通五丁目　一手販賣所　越野商店

御小賣共廉價にて販賣可仕候特に地方は迅速に御取扱可申候　電話貳〇貳壹番

特別大興行

法德四海を壓す

千古の大偉人!!

一新紀元を劃せる世界的大撮影

日蓮宗各派管長猊下御協贊

新規撮影

日蓮上人一代記

◀御誕生より御入滅迄▶　二萬呎全部映寫

天活會社が材料の蒐集に一年を費し撮影の準備に一年を費し更に現像の技巧に一年を費したる空前の大寫眞

フクく大滑稽大活劇　チヤプリンの爆彈投げ　全二卷

天活會社新考案日本新派喜劇　凸坊芋川椋三玄關番の巻

二十二日より　黃金館

櫻御殿

大阪 霞の家主人

第百八十回

座敷牢(十八)

「何うかして濟之丞が助けたい、さうして彼に恩が賣りたい」

利右衛門は一心に斯う思ふ、然し、守護の厳しい廣島の城内へ、他國者の潜び入る道はない、何れかに便宜はないかと思つて、東西へ手を付けるが、誰とて危險な目論見に力を貸してくれる者はなかつた

する中に、三日過ぎ五日過ぎ、十日あまりを夢見る間に送つて了ふ

「此のやうな事をして居ては、遂に望みを果す時がない、いつそ母御前に逢うて、何とか都合をつけて見よう」

斯う思つて、松尾家を訪れた、それが恰度家屋敷を役人の手へ渡して、年老つた銀杏が泣く〳〵邸を運び出されて行く時であつた

門は青竹縛りになつて、門前に歌の武士が控へる、銀杏は女中に手を引かれて、歩行も難しいまでに痩せ衰へた身を角門から運ぶ、與惣治は前に立ち、甚内と角内とがうしろに從ふ、主の悲みを感じるのか、厩の中で三歳駒が嘶く

利右衛門は縁が悪いと思つて、塀の蔭へ身を潜めた

「あゝ、此が見納めぢや、皆の衆は、待つて下され、この御門から倅は常々出入をして、門内の老松を倅は常々賞美して居た、その門は青竹で縛られ、その松は他の物になる、悲しや、これが見納めぢや」

銀杏は血を嘔くやうな聲で云つた、與惣治も咽せるやうに

「何も時世でござります、まあ、お心廣くお持ち遊ばしませ、その中には旦那様のお疑ひも晴れる時が参りませう、今日のお嘆きを話の種に、お笑ひ遊ばす時もござりませう、これが尾州でござりましたら、わたくしの在所へお供をしても、御不自由をおさせ申すやうなことはございませんが、廣島は昨今、心を許した友達もございません、御不自由ではございませうが、今夜は旅籠店に御一泊遊ばしませ、その内には小ぢんまりとした好い家を借り受けます」

「そなたにも雑作を掛ける、憂目ばかりを見せられる廣島に止まらずとも、尾張へさへ歸國すれば、同胞もあり、身寄もあれど、それでは濟之丞の消息が分らない、假へ乞丐に零落しても、わしは此方に殘つて居る、あゝ、何んの因果で此のやうな憂い目ばかりを見せられるのでござらうの」

銀杏はまた遂々云ふ、その繰言を聞いたとき

「濟之丞を助けるよりは御母を助けた方が賢いぢや、御母を助けるのはやがて濟之丞を助けるも同じことぢや」と不圖思つた

濟之丞は一生座敷牢で終るとも、また暗の如く干殺しにされるとも、銀杏の口から初瀬に對する疑ひを取り除けば、初瀬の身は安穏、助左衛門の自刄も無事に鞘へ收まるであらう、さりとてこゝに突然と聲を掛けるは氣の毒、まづ彼女の沈着くさまを見屆けよう」

斯う思つて見て居ると、召使に手を引かれて、夕暗の深い闇を、そろ〳〵と城下の方へ去つた

院長 醫學士 森 定吉
(芙蓉醫院改め)
入院隨意 內科 小兒科 森病院
京城明治町二丁目七五(鶴田醫院跡) 電話二六二三番

○彼岸 五の日十の日會 浮碧樓

彼岸ただけれはててつとうとして灯あり 柳
人の顔みかけても彼岸の町中あるいて
兄弟いかに親しく涙ながら彼岸の夜ながね 披
○
ひとよりて兒がまだるのに彼岸の夜を更け
挨か一杯うけて彼岸なれば泄水
吾ないがしろな彼岸つれに打まじりて 平
○
彼岸花隣に分ける程の束なり 旬
○
彼岸の灯かとまれ大勢の中の顔 葉
彼岸牡丹餅をつけ汽車の鐵橋を渡り
椿もちこみお中日の汽車なる 虹
○
彼岸の枝にザボンがゆれ風げる 阿岐良
中洲の彼岸貝波泡とろ〳〵ほられ
○
寺に來れば鐘が鳴つてをる彼岸
彼岸の夜の時計正しう動き・れしく
椿は椿らしく苔う彼岸近き鉢 鳥堂

□春燈吟

其の十一(大正七、三、九)

○三月
三月や波に乘り飛し海老の髭 水子
三月や樹影に舩寄さかな 白風子
漁松の中に三月野鍛冶かな 羅黄子
○春の泥
圓沼の芽にいさゝかありぬ春の泥 迦南
土師の家に乾く細具や春の泥 同
春泥の中に乾ける一路かな 水子
春泥に灯影を曳きて人絕にし 春樹
沼芦に竿高々や春の泥 白風
春泥や波止場の人に果物屋 羅黄子
○春めく
春めくや飼ひさぶつて鳥二羽 水子
○踏青
踏青の人に海よりの風強し 羅黄子

●●●●●公州山城吟社詠草●

水鳥 優選 蘇人

森が映る水の深さよ浮寝鳥 同
水鳥や堤を踏る通夜の僧 同
水鳥に夕榮あかき輪波哉 樂情
水鳥の艦廣々と闇れけり 萬星
水鳥の數漁り居る沼田哉 花翁
水鳥の尾を搾れ流る屑葉哉 葉幽
水洗ふ波靜きよ浮寝鳥 蕾鐵
川舟の囲ます水や浮寝鳥 香仙
水鳥の翼が光る朝日哉 要村
水鳥や江尻に釣る舟の波 閑
水鳥の行人に驚く水輪哉 同

餘寒

シグネルを掠む夜鳥春寒き 春草
欄間に餘寒を灯す燐かな 同
空堂に榆筆落ちゐる餘寒哉 同
鵲の疎林を駈ける餘寒哉 同
春寒さ事務所に焚る暖爐哉 香仙

初午

初午の行燈並ぶ徑かな 春草
杜に沈む赤き夕日や二の午 同
櫻が乞し馬の欠伸も三の午 竹風
初午の赤き幟や土手の向 透明
甍を灯す赤蠟燭や三の午 七軒
初午の幟を吹くや朝の風 不可人

▲久しく斯界に名の俳壇に餘知られたる逓信局の野田心水君は此程内地へ轉勤の事となりたる由當地引揚げ一先づ東京へ向け出發する由▲藥師川翠虹君は京畿道廳を辭し新義州の製紙會社へ入社し二十二日出發赴任したりと

□俳壇の近況

新刊紹介 (到着順)

▲義太夫大鑑 秋山木芳著 上卷は淨瑠璃の起源、三味線の由來より世態の變遷に伴ふ斯道の興衰、創始時代以來の作者及び太夫の派史系統、義太夫節の變遷その他有ゆる調査を七百餘頁に亘りて網羅し、下卷は淨瑠璃を語ると云ふ事の意義要旨と共の習練、語り方の理論、詞と地合、理論の應用、節、稽古の心得等數章に分けて詳述せり、上卷の義太夫節淨瑠璃の興衰の章の如き竹本座創興行以來各座の興行年表及びその變遷、太夫の略傳並に當時の木版番附を挿みたる、一讀當時を偲ばしむ、下卷は義太夫研究者の參考とすべき所多く就中節の一章及び竹本津太夫等の口授、越路太夫、呂太夫等の談話は興味多し、要するに下卷は斯道の修業より藝術觀の批評に至るまで細大漏す處なき評論にして義太夫研究者の好個の教科書と云ふべく苟も義太夫に趣味を有するものは必ず座右に一部を供ふ可し、但し三絃に關する調査の缺きは遺憾とする所。猶續の上改めて細評を試むべし(價七圓發行所京城本町大阪屋號書店)

▲讀本 (三月の號) 本誌は四年五年六年の各巻にて(以下略)各卷とも美麗なる彩色挿繪多數を挿入しあり內容亦面白きこと限りなく眞に兒童の好師友なり(各冊廿八錢東京博文館)

▲怪談珍奇白物語 (淘叙堂) 說話より化政にかけて出版せられたる面白き怪談本にある百物語を口語體に書き直したものでこれを讀んで深く味はゞ當時の世態や人情の半面を窺ふことができる(六十五錢東京神田淡路町博文館)

▲寫眞タイムス (一一五) 寫眞を以て最近の時事を知らしむる色め鮮明なる寫眞版にて內外萬般のたらゆる出來事を報ぜるものなり(二十五錢東京々橋區新肴町一八朝治製版所)

▲少女 (六四) 表紙と口繪數葉共に美しく記事も繪畫も面白きものゝのみにて滿紙春風駘蕩の氣に充つ(十八錢東京時事新報社)

▲面白俱樂部 (四月號) 近來傑出せる多趣味の內容と低廉なる價を以て雜誌界に風靡し居れるは此の面白俱樂部ならん四月號も面白き記事豐富にして且つ名家の傑作及び雜筆、名流の講談並びに落語界の記事多し十五錢東京本郷駒込講談社

▲●●●貯金の奬め (大日本貯金奬勵團編) 廿五錢東京神田表神保町三大日本貯金奬勵團

▲朝鮮農會報 (三月號) 二十錢京畿道水原郡月爾面高等里朝鮮農會

▲水產界 (三月號) 二十五錢東京赤坂區溜池町大日本水產會

▲自動車錦囊錄 (第一號) 一ケ月一圓六ケ月卒業五圓七十錢(東京府下羽田海岸日本自動車學校出版部)

▲嗜好 (三月號) 定價 東京明治屋

▲圖壽虎之卷 (三月號) 二十二錢東京麻布富見町富の日本社

諸者の領分

▲十八日の晩に京城の樂館に於て浪花節大會に赴いた所木戶口にて入場券持參なくば入場不可なる旨言ひ渡されたが中には會員ならざる而して入場券持參者に非らざる者をドシ〳〵入場させて居たが甚だ不公平不穩當なる振舞にて吾人青年の體面を汚辱したる行爲に非ざるか同會の諸士へ(不穩生)

▲鰯館の三階に取て一考を促す(旭町人)▲圖書館は高尙な機關の乏しき當地に又は銀行會社の少老青年にして實金町南米倉町等の小料理店の怪しき軒に入るを見る慨歎の至り當局を通じて諸兄の一顧を得ば幸なり(岡末生)

▲吉野町一丁目百廿六番地の長屋に近頃越して來た家では每夜十二時頃から午前四五時頃の間に江戶前の小唄が大聲にて騷ぎの長唄をするので近所近邊の安眠を妨害すること夥しいしかも兩親共平氣の平左なのには閉口します(迷惑生)

牛乳 御用 京城東四軒町 岡野牧場 電話一〇六九番

京日案内

▲申込後中途掲載中止の節は料金不返戻
▲六回以上の御申込は特に割引のこと
▲御照會は返信料御添付なき時は回答せず
▲御照會は必ず數字の番號御記入を乞ふ

普通

◉融通 月收の御方へ極秘迅速簡易 大和町三の三二(內平町)起木室 554

◉代診藥局生有志婦至急募集 希望者本人來談ありたし 仁川宮町 松本病院 537

◉醫師一名及看護婦三名採用 但市內確實なる要保證人 本町一丁目 石川醫院 482

黃金町二丁目電取次二二三〇 古服高價買入御報參上 木村洋服店

▲金融 官吏教師へ極秘信用手輕 貸出御保同上候又御來駕 京城本町五電車終點北大和屋質店

看護婦及同見習募集 志望者履歷書携帶來談ありたし 仁川 仁川病院 555

有給外交員入用 男女を不問望の方は本人直接來談 南山町一丁目五番地部 川口 556

高給外務員招聘 希望者は履歷書送附あれ 京釜線大田本町貳丁目八十番地 帝國公債信託株式會社南鮮支部 551

藥學生募集 四月五日新學期開始す 出願期日三月中規則書は左の雜誌店に有◉新井山岸北島宮本梅崎教館 和中堂 朝鮮藥學講習所 553

礦物定量分析 太平町二丁目一二五電長一三四四 朝鮮公論社左横小路 坂元分拆所 492

恩給 年金五年迄即時手續 月利一二五 保安三年迄保險不要 京城南大門外(舊)御成町 山口屋 電話二六八八番 324

礦物定量分析 本町二丁目五三京城銀行横入電話一六二五 坂元分析所 491

產婆開業 (元濱崎助手) 京城櫻井町二丁目二二〇 電話一五〇五 遠山ミチヨ 500

店員入用 十三歲より十七歲迄三名要保證人 京城本町一丁目電話壹八七二番 メリヤス雜貨商 鈴木支店

年金恩給 最長期即時立替 利極安前引なし 保險不要▲京城永樂町 和洋雜貨商品陳列館 江州屋本店 444

社員採用 內勤外勤數名年齡廿二才より四十五才迄希望者は自筆履歷書携帶午後四時より六時迄の間に來社あれ 黃金町二丁目 太平生命保險會社支部

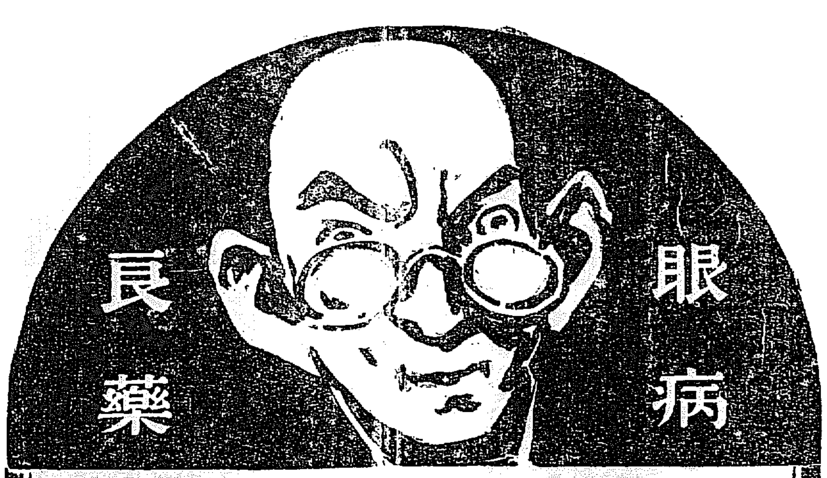
○はねつぎ うちみ くじき 一切の治療御依頼に應ず 明治町 柔術道場 412

花柳病外科專門 ◉梅毒◉淋病◉泌尿生殖器病 ◉學丸◉痔病◉皮膚病 ◉婦人病◉神經衰弱ヒステリー 京城南大門通農工銀行裏 同生堂醫院 電話三〇六九番

▼彼岸灸鍼▲ 長谷川町二丁目三井倉庫横ノ入ル 狩野治療所

大日本政府 登錄商標
"PINE"
一本の萬年筆を
理想的萬年筆
愈々書き具合
能しとの定評を得たる
パインを徐き他に知るべからず
萬年筆の眞價は
パイン万年筆
特許既製防破裝置附
操出式萬年筆 金六圓八十錢
押出式神士向 金五圓三十錢
インキ止式婦人用 金三圓八十錢
インキ止式短軸 金四圓九十錢
インキ止式實用向 金三圓八十錢
イン學生號 金二圓八十錢
ビジネスペン(事務用) 金一圓九十五錢
不具合又は自然破損は交換缺點又は無料修繕
發賣元 京城日報社代理部 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番

新滋養劑 レグモシ
肺結核に對する理想的滋養劑として
レグモンの賞用せらる、理由
(一)其八十五プロセントは吸收せられ易き蛋白質なるを以て速かに榮養を增進し一般機能を佳良にし衰弱を防止す、
(二)肺結核に對し一種靈妙の作用を有するカルチウム鹽を含有するが故に病勢の進行を止め、食慾を進め、營養物の吸收を佳良ならしめ、血液の濃度を增す
其他レグモンは總ての病中病後の衰弱に極めて有効にして現今醫界の信認最も厚し
定價 百グラム入 金壹圓貳拾錢 貳百瓦入 金貳圓貳拾錢 四百五十瓦入 金四圓五拾錢
大阪市東區道修町 一手販賣店 武田長兵衞商店



眼病 良藥
登錄商標 直治水
一瓶で偉効顯る!!
コレ迄の目薬で効なき患者は試よ!!
三大特長 一、最新醫學の理に基く。 一、眼科高貴新藥を配伍す。 一、根本的に視力を强くす。
主効 □トラホーム□やにめ□髪眼□はやりめ□うみめ□ちめ□かすみめ□めくさ□目星
其他眼病諸症に偉効あり。
發賣新式点眼器付十錢廿錢各藥店にあり。
本舗 大阪 東京 丹平商會藥房

模範 牛乳 皇太子殿下御用
ニウソ 石鹸消毒
主場 肥塚正太 京城蓬萊町四丁目 東亞牧場 電話五二番

京城龍山等各地に僞物有御注意
百圓進呈 大阪 大日本 三越 卸 本舗
りんびよう 病 ばいどく 毒
帝國醫科大學病院 醫學博士 ……
分析料 百圓進呈
にせ物 東京其他各地にせもの
大阪有田 販賣を賣
●にせ物と好商
大阪有田
京南大門外 大阪 多田商會
京城南大門外停車場通 大阪 ドラッグ商會

大阪商船株式會社汽船出帆廣告
仁川出帆
神戶大阪行(群山寄港)
須磨丸 三月廿五日 後五時出
△日清丸 三月廿五日 後五時出
△錦州丸 三月 日 後五時出
×安東丸 三月二十二日正午 大連行
×鎭南浦、釜山、巖原、鄕ノ浦、長崎行
須磨丸 三月廿四日 後二時出
安東丸 三月 日 正午出帆
西湖津、城津、新浦行
宮島丸 三月二十八日 後十二時出
釜山、門司、宇品、神戶、大阪行
安平丸 三月廿七日 後九時出
元山出帆
大連出帆
上海、基隆、打狗行
湖北丸 四月十三日 前六時出
基隆丸 四月十六日 後四時出
內地各港出帆主要航路
南米行 每月一回
北米行 每月二回
歐洲行 每月二回
孟買行 每月一回
南洋行 每月二回
御注意 ……
大阪商船株式會社 仁川支店 京城切符賣捌所
仁川京城通ずる切符發賣所

釜山出帆廣告
○和歌浦丸 月 日 後五時出
○立神丸 月 日 後五時出
○元山、浦潮、淸津行 和歌浦丸 月 日 後四時出
○門司、神戶、大阪行 立神丸 月 日 後十時出
○佐須奈、嚴原、博多行 天草丸 每月二日九日十四日廿一日廿六日 午後十時出帆
○第三琴平丸 三月廿二日 後六時出
元山代理店 田口回漕店 電話二七六〇八
仁川代理店 野口商會 電話一七三番
京城大坂屋 河村回漕店

阿波共同汽船仁川出帆
大連行 共同丸 三月廿三日 午後八時
芝罘、大連行
阿波共同汽船株式會社 本町四丁目 電話一七三番

日本郵船仁川出帆
大連行、天津行
相模丸 三月二十日 正午
三河丸 三月 日
高砂丸 三月廿一日
仁川海岸町一丁目 堀回漕部

尼崎汽船仁川出帆
神山、木浦、釜山、下關、大阪行
神代丸 三月 日 後四時出
秀吉丸 三月 日 後四時出
若代丸 三月卅一日 後四時出
大有丸 三月 日 後四時出
仁川海岸通 高杉回漕部

京城居留自動車 金泉支部
間自動車發着時刻
わかさ にて今迄從來の藥を用ひ効なき方は是非此薬を御用ひあれ 定價六十錢一圓 京城黃金町三丁目 山田文殊堂藥房

大阪株式 ……
下關朝米 ……